

昭和二十四年三月十九日 昭和廿四年九月廿五日印刷 (毎月一日發行)
第三種郵便物認可 昭和廿四年十月一日發行

第三〇輯・第十號・昭和二十四年十月

建築(社會)

10

日本建築協會

THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

會 告

會費並びに入會金改正

(昭和24年10月1日から實施)

現下の社會狀勢から、本會の運営に多大な打撃を蒙り非常な財政難に陥りましたので去る9月19日開會の評議員會に下記の通り會費並びに入會金の再値上げを諮りましたところ、全會一致でこれを承認の上本年10月1日から實施することに可決されました。會員各位に於かれましては何卒深き御理解と一層の御協力を御願い申し上げます。

改正會費	正會員第一號	月 額 80 圓 に
	准 會 員	月 額 50 圓 に
	(正會員第2號は現行通り 年額一口 1,000圓)	

改正入會金 正會員100圓に 准會員50圓に

(細則第七條第一項中正會員入會金50圓とあるを100圓に同條第二項中准會員入會金30圓とあるを50圓に改む。
第十條第一項中正會員第一號會費年額480圓とあるを960圓に、准會員會費年額240圓とあるを600圓に改む)

社團法人 日 本 建 築 協 會

會費拂込みに就いてお願い

從來の會費40圓也は大休に於て雑誌とバーになり一般諸經費や事業面に充當されるのは極めて少額ですが、最近に至り事務所借室料の再値上げや通信集金等雜費の自然増で會の維持が更に困難となり止むなく上記の通り會費再改正となりました。何卒事情を御諒承願い一層御支援あらんことを重ねてお願いする次第です。一面集金郵便が杜絶中で會費の集金が甚だしく不圓滑となり財政逼迫に拍車をかけています。就きましては今後の拂込みは年數回に分割請求いたしますが、御愛會の念厚き各位に於かれましては隨時適宜分割拂込み下さる様熱望いたします。振替(大阪39975番)御送金の際は拂込料控除されて結構です。

追て會誌も本號からアート紙挿入と共に内容充實に努め定價を60圓に改正しました。尙朝日ビル事務室を圖書閱覽、會合等に充分御利用下さい。

主 計 理 事

大阪府建築代理業者資格檢定試験

- 1、日 時 10月16日(日)午前9時—午後5時
- 1、會 場 東 中 學 校 (市内東區島町1丁目)
- 1、試験科目 建築法規全般。技術。手續等
以上合格者は別途に口述試験あり
- 1、試験委員 建築部 稗田課長、元吉課長、竹内課長、高辻課長、
恒岡技師、越田技師、田中技師、柳井技師、淺野技師等
- 1、申込所 大阪府建築部建政課分室企畫係

兵庫支部事務所移轉

兵庫支部事務所は今般下記の通り移轉した。

神戸市生田區播磨町45 大興ビル1階
竹中工務店神戸支店氣付

日本建築協會兵庫支部 (電話元町386・3352番)

同支部に關する用件は同店早良俊夫幹事又は設計部武田寛氏へ御連絡願います。



ヒロシマ

1945・8・6

建築と社會

10

1949・10

時の言葉 新建築材料に対する關心……………2

新建築紹介

NO MORE HIROSHIMAS! ……………3

廣島驛前郵便局……………4

下關水産ホーム……………7

HIROSHIMA STATION ……………10

鳥取電気通信工事局……………12

廣島鐵道郵便局糸崎係員事務室……………14

廣島女學院高等學校講堂……………16

岡山市戰災復興……………佐藤重夫……………17

統計から見た廣島縣下の住宅復興……………曾根田彰……………19

一閃を契機として……………22

原爆四週年を迎えて……………二村四郎……………24

朝日山
安國寺 不動院梵鐘樓に就て……………橋本秀夫……………28

万葉から見た建築漫談……………安東忠士……………32

鐵工業都宇部……………岩田勝巳……………34

福山隨想……………佐藤公三……………35

施工期間の問題……………36

建築積算便覧……………37

會務……………44

時 の 言 葉

新建築材料に對する關心

建築生産に對すると同様、建築材料の生産に對しても我々は深い關心をもつ。

一つは建築費を構成している重要な要素として、次は出来上つた建築に於て占めるところの材料効果であるが、果して現在建築材料の生産は好ましい方向に向つていのかどうか先づ市販建築材料の價格について、もつと低くすることは出来ないものであらうか。建築費の中で勞務費の%が大きいことは他の生産事業と同様止むを得ないとしても、それでもこれを合理化するために拂つてゐる努力は極めて厳しい状態にある。これと同じく、材料價格の檢討がなされることは當然でなければならぬ。

加工される材料が製品として賣出されるまでに、果して合理的な製造過程を通つていのかどうか。この点について我々は深い關心をもつ。

一般商品資材と同様に建築資材も最近大巾に統制の枠をはづされた。これからは何といつても、良いものを安くという時代である。

メーカーの立場から、或は消費量、原材價格、工賃等何れも悩まされる困難な問題であるときくが、併し何といつても工場内の仕事であり、固定施設を使つての仕事であれば、これを合理的な工夫によつて改善する方法があるのではないか、もつと深く能率化することによつて更に價格の檢討をなすべきであると思う。

殊に習慣に防げられない新建築材料の生産に對しては期待をかけるものである。

アメリカでは合成樹脂工業が建築資材に及ぼす影響は最近非常に大きい様であるが、日本でも此の方面の建築資材の發展は期待されて良いと思う。

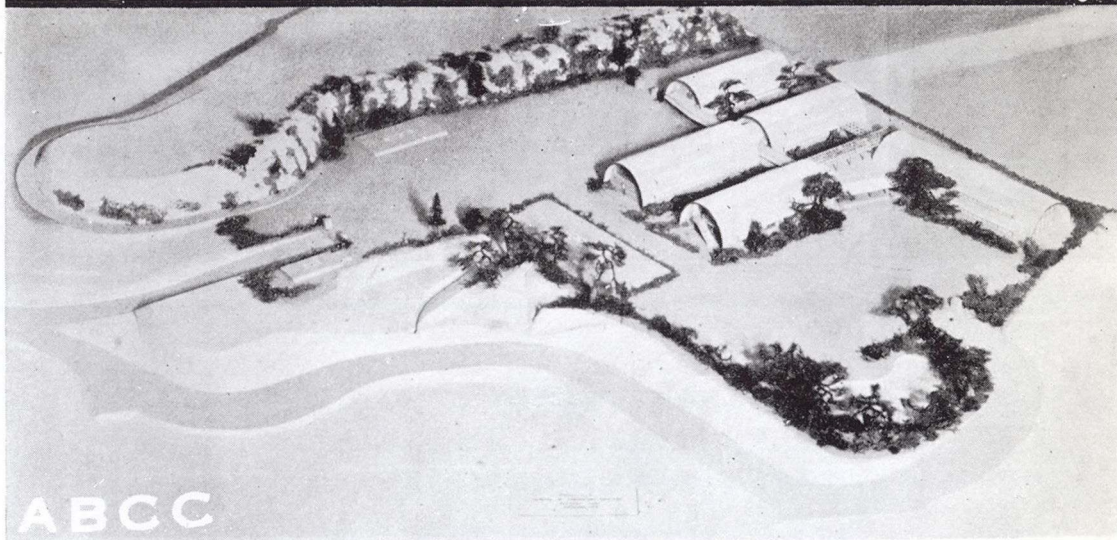
次は材料の商品的價值であるが、外装、内装、何れを問はず、もつともつと研究すべきではないか。商品ならば賣れることおもつて足れりとする考えが既に古く、殊に建築の如く長い年月の使用に耐える場合、更にそれがもつ文化的な効果の影響を考えるならば、單なる商品とみることとは出来ない。

あらゆるものが悪い意味のアブレゲール型であつた如く、建築材料に於てもこの傾向があつた。戦前と同様名稱に變りはないが、その質と効果に於ては殆んどお話しにならなかつたのである。

併し乍ら、アブレゲールには亦一面新しいところがあり、新鮮で清潔で古くさい過去に優る要素のあることを認める。これを、これからの建築材料にも期待しなければならぬ。

何れの面からするにしても我々はこれからの建築材料に對して深い關心をもち、期待をかけるものであり、従つてこの方面の業者の理解と研究と努力とに俟たなければならない

NO MORE HIROSHIMAS !



ABCC PHOTO LAB 提供

去る6月30日 Atomic Bomb Casualty Commission と竹中工務店との間に正式に契約調印された。工事費は凡そ4千萬圓であるが、建築材料を入れると數倍に達すると云はれる。建築デザインは此處で行はれる科學的研究を抵觸しない限り近代的な意匠を施し、色彩、背景の美と相まつて8ヶ月以内には廣島新名物の一つとなるであろう。原子爆彈の放射能が長期に互の影響力を人体に及すかどうかという米日共同の醫學研究をなす當所と同様の建築計画が長崎及び吳に於ても樹てられている。

廣島市比治山公園南側に建設豫定の原爆傷害調査委員會
診察所及研究所の本建築計畫

敷地面積 約 10,000 坪

延有効床 約 1,000 坪

建 物 二階建五棟の建物(廊下で相互に連絡する)
米國から輸入された組立式鐵骨材で多少の
改造が施されている。

建物の用途 (1) 受付、ロビー、待合室、管理事務室、
(2) 診察用試驗設備並に記録收藏室、X線
装置室、寫眞室、齒科研究室、圖書室、小講堂
(3) 生化學、血液學、寄生物學、細菌學、
血清學、病理學の各研究室、二階には特別
研究中の爲の小研究室がある。
(4) 徹宵診察の爲12のベッドを備へた患者
用の施設、ロッカー、倉庫、浴室等が一階
にあり、二階は統計部事務室になつてい
(5) 80馬力の蒸氣ボイラー(石油燃料とす
る) 2台其の他の加熱用及動力設備を含む
サービスビルディング。其の他 150 人の醫
者、看護婦、技術者の白衣を處理する近代
的な洗濯器、乾燥器、アイロン、設備を備
へた洗濯場及び器具の修理工場等が此の建
物の中に含まれている。又二階の倉庫に連
絡する荷物用のエレベーター装置がある。

内部仕上げ 建物の主体構造は鐵筋コンクリート床板と

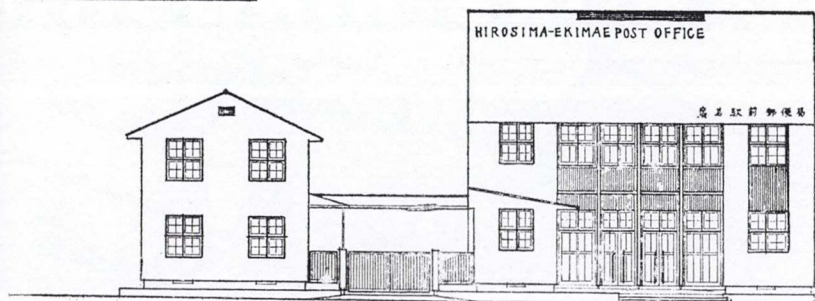
鐵骨間仕切で出来上つてゐる。建物全部が
メタルラスとプラスター仕上げ。米國から
輸入されたペンキで適當に塗装される。日
覆窓は木製の建具が取附けられてゐて機械
操作を行う。出入口の窓は全部金屬製であ
る。

絶 縁 2 吋の厚さの毛狀絶縁体に膠質の糊が吹き
つけられている。防寒防暑の爲、凡ての建
物は絶縁されている。又防音効果の爲天井
にも同様の物質が使用されている。X線装
置のある各部屋は保護の爲鉛の薄板が部屋
の中に張り廻されている。設計の最も重要
な點は患者用の通路と業務用の通路を別に
した事である。診察所設計の際にいつも問
題になるのは此の點であるが ABCC の本建
築計畫については此の點が考慮されている
植 込 植込みによつて周圍を變化すると同時に建
物が周圍の風景と調和するように考慮され
ている。建物と建物との間の中庭には日本
風の造園が行はれる筈である。入口の近く
に、80,000 ガロンの消火用の貯水池が設け
られ玄関に通じる道路も患者用と業務用と
の二種類がある。従つて重いトラックが正
面玄関の雰圍氣を損ふ事がないように考慮
されている。 以上

廣島驛前

郵便局

0 1 2 4 6 8 10m



- 1 場所
- 2 設計
- 3 施工
- 4 敷地面積
- 5 建築面積
- 6 仕上

廣島市松原町甲 557 番地

廣島郵政局建築部設計課 擔當 沖田、土井

廣島市八丁堀 廣島工業株式會社

431.95 坪

1 階 280 坪 2 階 150 坪

床 玄関、公衆室、コンクリート打、モルタル目地切仕上

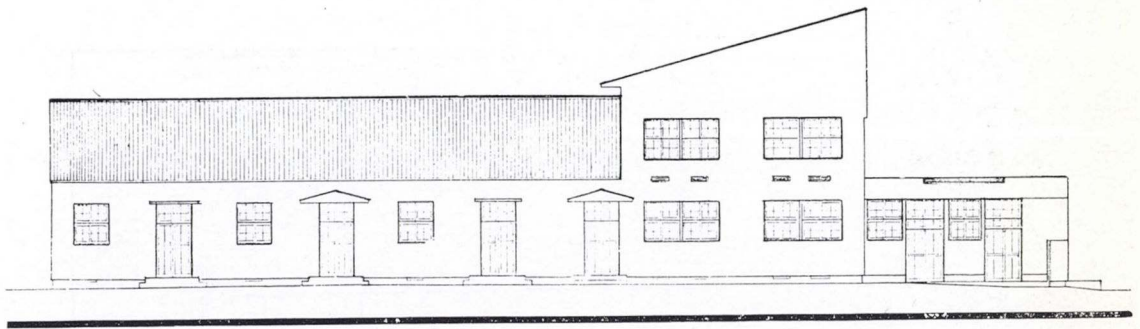
事務室、桧甲板張、オイルステン塗、カウンター、人造石研出し（カナリヤ石）

壁 腰堅羽目ペンキ壁、内部漆喰、外部ラス下地白色セメント吹付仕上

天井 テツクス、水性、ペンキ吹付、一部打上天井ペンキ塗

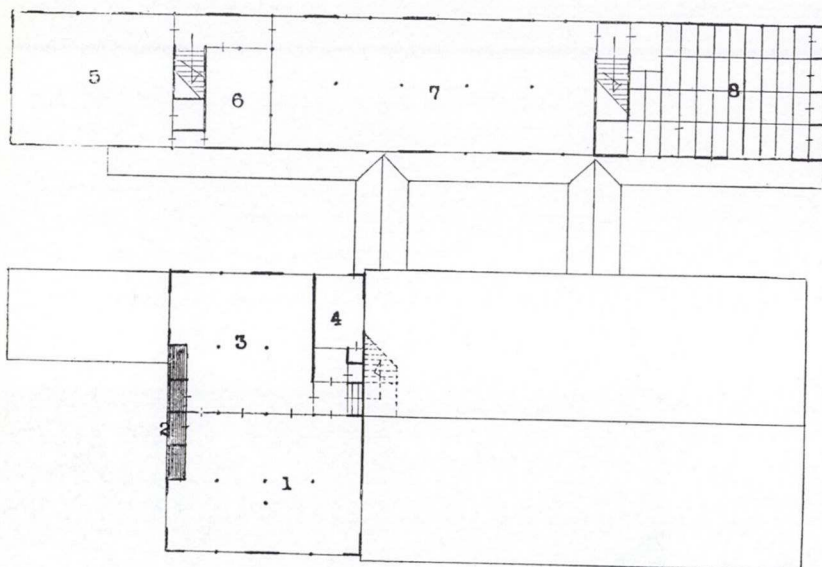
屋根 小屋木造トラス、亜鉛鍍鐵板、防錆塗料塗及セメント瓦葺





一階平面室各表

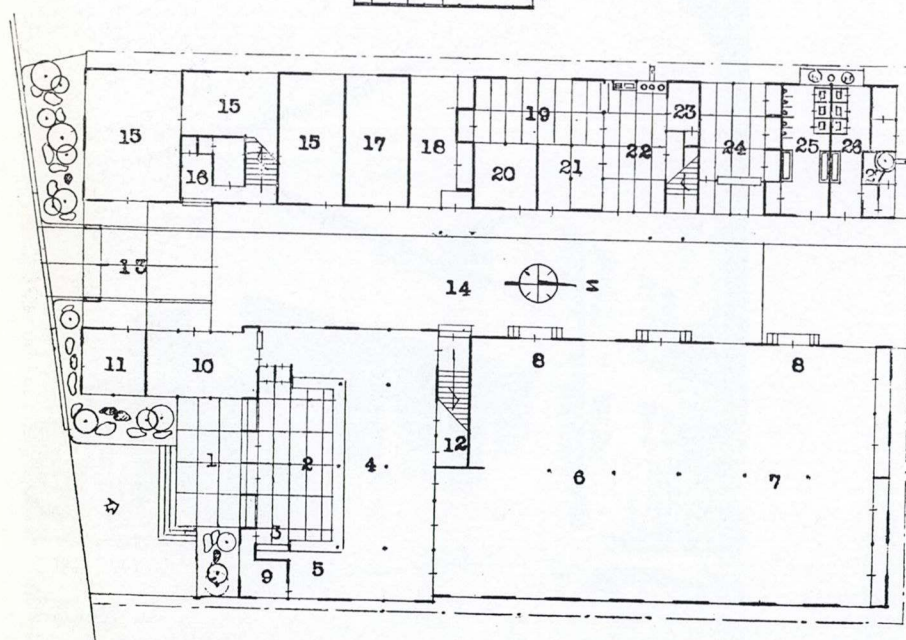
1 玄 関 室	10 郵 便 外 勤 控 室	19 食 堂
2 公 衆 室	11 自 轉 車 置 場	20 衛 生 室
3 私 書 箱 室	12 金 庫 台	21 理 髮 室
4 窓 口 事 務 所	13 通 用 門	22 湯 沸 室
5 郵 便 事 務 室	14 通 庫 及 物 置	23 雜 務 手 室
6 通常郵便事務室	15 倉 庫 及 物 置	24 厚 生 室
7 小包郵便事務室	16 監視員室(休憩室及宿直室共)	25 男子洗面所
8 郵便發着室	17 物 品 保 管 室	26 女子洗面所
9 郵 政 相 談 所	18 女子休憩室兼更衣室	27 浴 室



二階平面室各表

- 1 保 險 事 務 室
- 2 パ ル コ ニ ー
- 3 電 信 機 械 室
- 4 電 信 事 務 員 休 憩 室 及 宿 直 室
- 5 庶 務 會 計 事 務 室
- 6 局 長 室
- 7 保 險 外 勤 事 務 室
- 8 男 子 宿 直 室

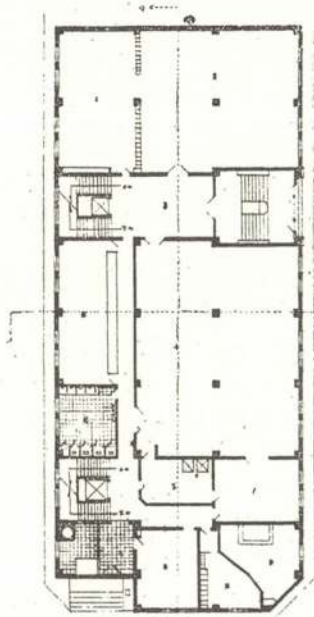
二階平面圖



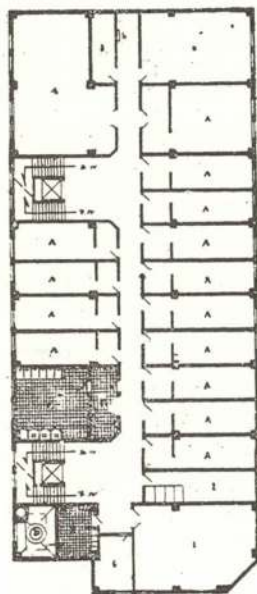
一階平面圖



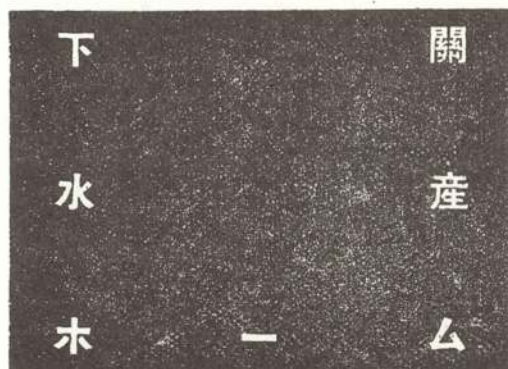
15階平面図



1階平面図



2階平面図



建築位置 下關市大和町
 設計 石川寛三建築事務所
 監督
 施行者 株式會社 大林組
 建築面積 第1階 244.53 坪
 “ 2 “ — “ — “
 “ 3 “ — “ — “
 “ 4 “ — “ — “
 地階 — “ — “
 屋上階 20.4 “
 合計 1243.05 “

各室、名稱
共通部

- | | |
|-------|---|
| A) 一宿 | 室 |
| B) 一事 | 務 |
| C) 一ト | イ |
| D) 一浴 | レ |
| E) 一脱 | 衣 |
| F) 一洗 | 面 |
| G) 一分 | 電 |
| H) 一配 | 電 |
| I) 一押 | 入 |

地階

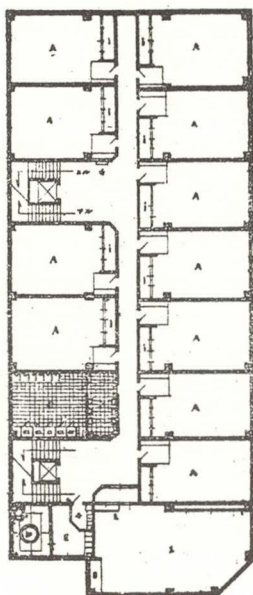
- | | | | |
|--------|-----|---|---|
| 1) 一ボ | イ | ラ | 室 |
| 2) 一料 | 理 | 庫 | |
| 3) 一倉 | 用 | 室 | |
| 4) 一使 | 人 | 室 | |
| 5) 一小 | 使 | 室 | |
| 6) 一更 | 衣 | 室 | |
| 7) 一理 | 髪 | 室 | |
| 8) 一ク | ロー | ム | |
| 9) 一配 | 電、變 | 電 | |
| 10) 一喫 | 茶 | 室 | |
| 11) 一物 | 入 | レ | |
| 12) 一酒 | 化 | 揚 | |
| 13) 一淨 | 入 | 槽 | |
| 14) 一物 | 入 | レ | |
| 15) 一水 | 炭 | 庫 | |
| 16) 一石 | 炭 | 庫 | |
| 17) 一ボ | イ | ラ | |
| 18) 一ソ | 一 | コ | |

一階

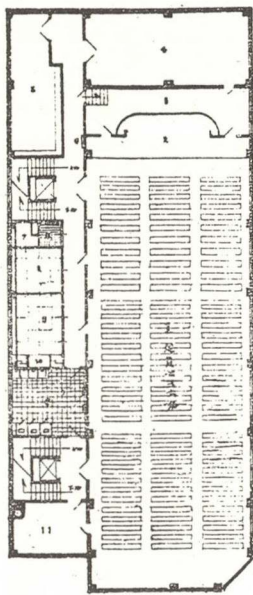
- | | | |
|-------|---|---|
| 1) 一團 | 基 | 室 |
| 2) 一談 | 話 | 室 |
| 3) 一ホ | 一 | ル |
| 4) 一食 | 膳 | 堂 |
| 5) 一配 | リ | 室 |
| 6) 一別 | 室 | ト |
| 7) 一休 | 食 | 堂 |
| 8) 一休 | 憩 | 室 |

二階

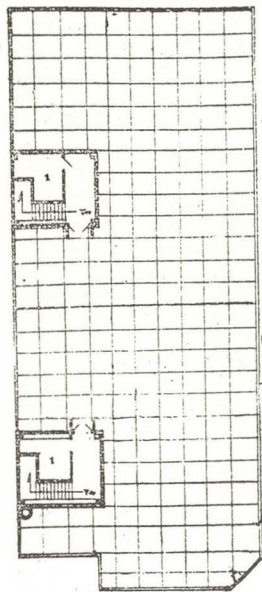
- | | | |
|-------|---|---|
| 1) 一合 | 宿 | 室 |
| 2) 一交 | 換 | 室 |
| 3) 一書 | 議 | 庫 |
| 4) 一會 | 仕 | 室 |
| 5) 一給 | 控 | 室 |



3階平面図



4階平面図



屋上平面図



三 階

- 1) 一 共同宿舎兼娛樂室
- 2) 一 下駄入
- 3) 一 地袋
- 4) 一 踏込

屋 上

- 1) 一 機械室

四 階

- 1) 一 集會室
(定員、736人)
- 2) 一 舞台
- 3) 一 楽屋
- 4) 一 講習室
- 5) 一 圖書室
- 6) 一 玄関
- 7) 一 物入れ
- 8) 一 和室8帖
- 9) 一 和室10帖
- 10) 一 床
- 11) 一 控室

建築高さ…標準地盤線よりパラメット上端迄 57.47尺
標準地盤線より地階床面迄 5.00尺

構 造…鐵筋コンクリート造

屋 根…陸屋根(防濕層)

外部仕上…玄関廻り黒御影水磨き、裏玄関廻り、花崗岩三邊叩き、腰及笠石、人造石洗出し、その他外壁は色「モルタル」塗仕上とす、外部出入口は總て、枠、建具共鐵製にして、一部硝子入り、外部窓は凡て工場型一部出だし付、「スチール、サツシユ」にして一分硝子(一部摺)入とす、鐵筋及、木部は特記なき限り、全てオイルペンキ塗仕上とす

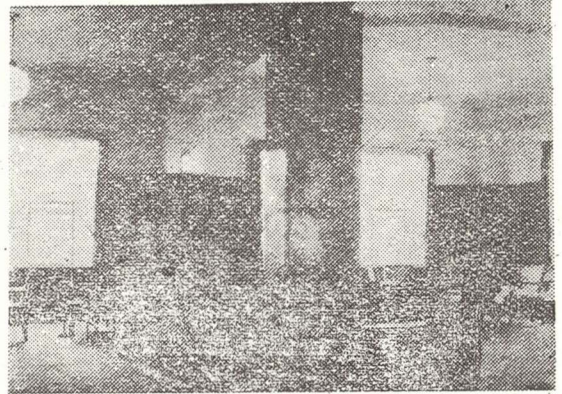
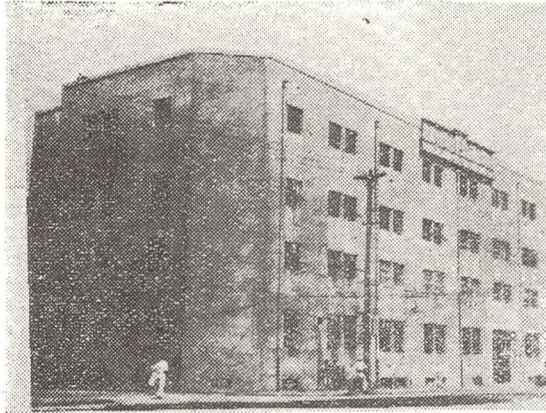
内部仕上

「地階」床…理髮室、洗面所(一部タイル)酒場、喫茶室、一部をのぞく、廊下、階段室の各階、及各階便所は色人造石研出し塗り、更衣室、使用人室、小使室、疊敷流球縁とし、その他一般はセメント、モルタル又は「コンクリート」とす。

巾木…理髮室、洗面所一部を研く各階廊下、便所、階段室、酒場、喫茶室は人造石研出し塗り、更衣室、小使室、使用人室、一部は木製その他は「セメントモルタル」又は「コンクリート」とす。

腰…理髮洗面所、酒場、喫茶室、各階便所、一部をのぞく各階階段室は人造石研出しその他は「セメントモルタル」ぬり、又は「コンクリート」

壁…理髮室、洗面所、使用人室、小使室、更衣室



各階々段白漆喰ぬり仕上、酒場、喫茶室は「ペイントコンビネーション」仕上、その他は「セメントモルタル」塗仕上とす、及、各階、便所、白セメント塗

天井…理髪室、洗面所、使用人室、小使室、更衣室各階々段室は白漆喰ぬり仕上、酒場、喫茶室は「プラスター」水性ペンキ仕上、各階便所白セメント仕上、その他は「セメントモルタル」塗り若しくはコンクリートとす

「1階」床…表玄関、花崗岩表何合端三邊小叩仕上、ホール、食堂、別食堂、は眞鍮目地、色付人造石研出塗り、事務室、休憩室、脱衣室、檜、(オイルステイン)フローリング貼、園芸室、談話室、檜、實掛、オイルステイン仕上裏玄関「モザイクタイル」貼付、配膳室セメントモルタル塗り其の他

巾木…表玄関、花崗岩、ホール食堂別食堂、人造石研出塗り、事務室、脱衣室、休憩室、檜、ペンキ、園芸室、談話室木製ニス、裏玄関「モザイクタイル」その他は「セメントモルタル」塗仕上とす

腰…表玄関花崗岩三邊小叩目地、笠石、オニツクス又は長州大理石仕上、事務室、脱衣室、休憩室木製ペンキ仕上又は腰壁色モルタルセメント塗仕上、園芸室、談話室、白漆喰ぬり、裏玄関モザイクタイル仕上その他は「セメントモルタル」塗仕上とす。

壁…表玄関ホール、休憩室、事務室、は「セメントモルタル」刷毛引「オイルペント、コンビネーション」色合銀青色塗仕上、脱衣室、園芸室談話室は白漆喰ぬり、その他壁はプラスターぬり、水性ペンキ又はプラスター仕上とす

天井…表玄関、白シツクイ塗り、廣間、事務室、脱衣、食堂、別食堂プラスター水性ペンキ塗仕上その他は「プラスター」仕上とす

「2階」床…合宿室、宿室、會議室は人造石研出ぬり仕上一部堅木フローリング、事務室、檜フローリング、オイルスチーイン仕上、交換室及給仕控室その他は「セメントモルタル」塗仕上トス

巾木…合宿室、宿室、會議室は木製オイルスチール

ン仕上一部人造石研出塗り、事務室、木製ニス仕上、交換室及給仕室その他は「セメントモルタル」塗仕上とす

腰…會議室腰壁、色シツクイ、その他「プラスター」仕上とす

壁…宿室、合宿室、事務室「プラスター」塗の上に「ペンキコンビネーション」仕上、會議室は白漆喰ぬり、その他は「プラスター」仕上とす

天井…宿室合宿室、事務室は「プラスター」オイルペイント塗仕上、會議室、白漆喰、その他は「プラスター」仕上とす

「3階」床…各宿室、合宿室はタタミ敷一部人造石研出塗り、その他2階同斷

巾木…各宿室一部人造石、研出塗り

壁…色シツクイ塗仕上

天井…プラスター

便所その他、地階同斷

「4階」床…圖書室、控室、講習室、檜小節、オイルステイン仕上、集合室、檜フローリング、樂屋舞台、板バリ、和室、疊敷とす

巾木…圖書室、控室、講習室、樂屋木製オイルステイン塗仕上とす

腰…集合室人造石研出塗仕上、その他木製ペンキ又は色モルタルセメント塗仕上とす

壁…講習室、控室、圖書室、樂屋はプラスター、集合室舞台はプラスターオイルペイント、和室眞壁砂カベ仕上とす

天井…舞台、オイルペンキ仕上講習室、控室、圖書室、樂屋、集合室その他はプラスター仕上、和室、竿縁天井

床、巾木、モメントモルタル、

「塔屋」壁天井プラスター塗仕上とす

附帶設備工事

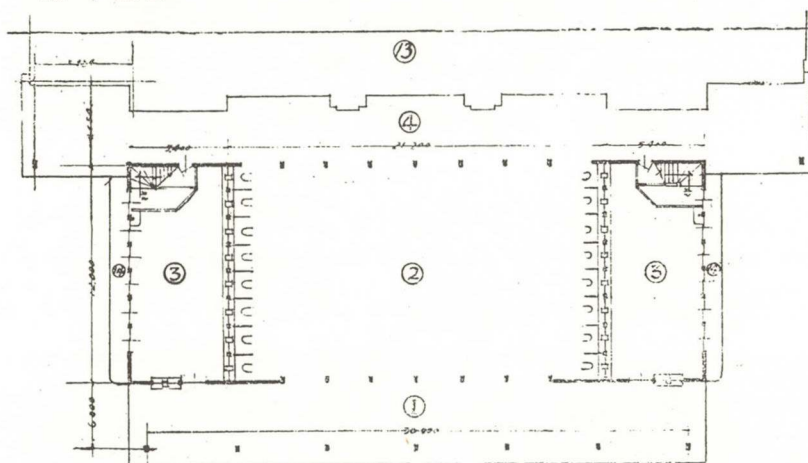
電氣設備工事	一	式
給水及排水設備工事	一	式
衛生設備工事	一	式
「エレベーター」設備工事	一	式
「リフト」設備工事	一	式

以上

HIROSHIMA STATION



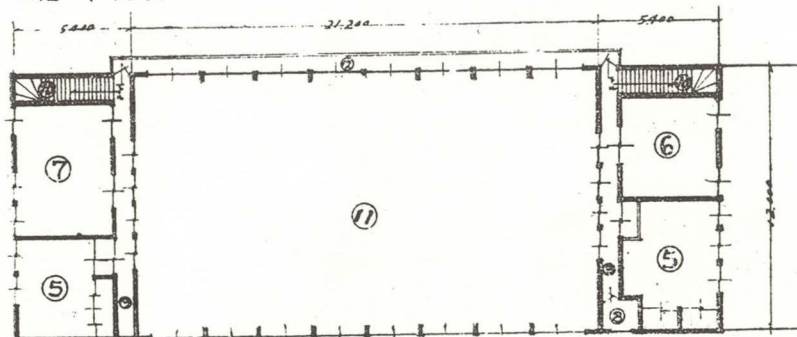
一階 平面圖



- 1 車 寄 133.3 平米
- 2 廣 間 254.4 //
- 3 出 札 室 129.6 //
- 4 通 路 上 家 170.7 //

階下 688平米

二階 平面圖



- 5 休 憩 室
- 6 切 符 保 管 庫
- 7 事 務 室 及 保 管 庫
- 8 電 氣 時 計 室
- 9 廊 下
- 10 階 段 室
- 11 吹 拔 キ
- 12 渡 リ 廊 下
- 階上 384.平米
- 13 舊 館 地
- 14 線 地

建築設計 広島鐵道局建築課
現場監督 広島建築區
施 工 広島鐵道工業株式會社
使用開始 昭和24年7月7日

構 造 木造二階建セメント瓦葺、主要軸組、二絞トラス、コマジベル使用、壁体乾燥のため各窓台下に換氣穴を設く、トラス脚部にはレヂスーを取設く

外 装 下地アスファルトフェルト張り、鐵網ラス張りモルタル塗り小野田白色セメント使用クリーム色リシン仕上げ

車 寄 柱は黒大理石几帳面張り、鼻隠し人造石塗研出し、黒根亜鉛引鐵板瓦葺き、縁ペンキ塗數ヶ所に天井裏換氣穴を取設く、天井周囲は漆喰塗、中央はシルバー色ジョイナー狭み、エーコーライト張りワニス仕上げ

廣間内部 床コンクリート打モルタル塗仕上げ、巾木藥掛、スクラツチタイル、張腰廻り、エーコーライト張りワニス塗艶出し、トラス型、サンライト目隙張り、何れも角眞鍮製ジョイナー打ち、壁及天井は耐火木毛板目隙張りクリーム色カセインスプレー仕上げ

出札口カウンター天板は霞大理石、キャシヤホルダーはオニツス大理石ゴマカラ付き

主要枠及建具は檜材ワニス塗仕上げ

人除柵及硝子破損止めは眞鍮パイプクロール鍍金のもの使用、出札口上部硝子に出札口番號及線名を金文字記入す

出 札 室 床か板張り、腰材は板張り壁木摺打漆喰塗り天井ブナベニヤ板張ジョイナー打ち

主要材料使用先

大 理 石 山口縣厚狹町 長門石材株式會社
白セメント 山口縣小野田町 小野田セメント會社製
広島商事會社納入

エーコーライト及サンライト

大阪市東區今橋三丁目 日本レイヨン株式會社

建築金物及人除柵 廣島市八丁堀 山田建築金物商會

塗 装 工 廣島市研屋町 柴田塗装會社

電氣時計 設 計 廣島鐵道局通信課

現場監督 廣 島 通 信 區

施 工 者 丸和精機株式會社

裝置T.C. 電磁時計 文字板 1.200米角

關西方面にては初めて裝備す

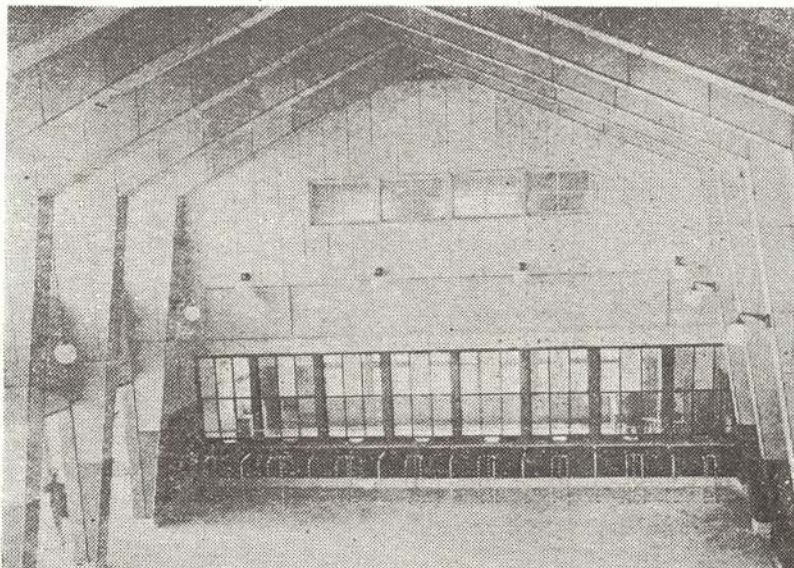
電燈設備 設 計 廣島鐵道局電氣課

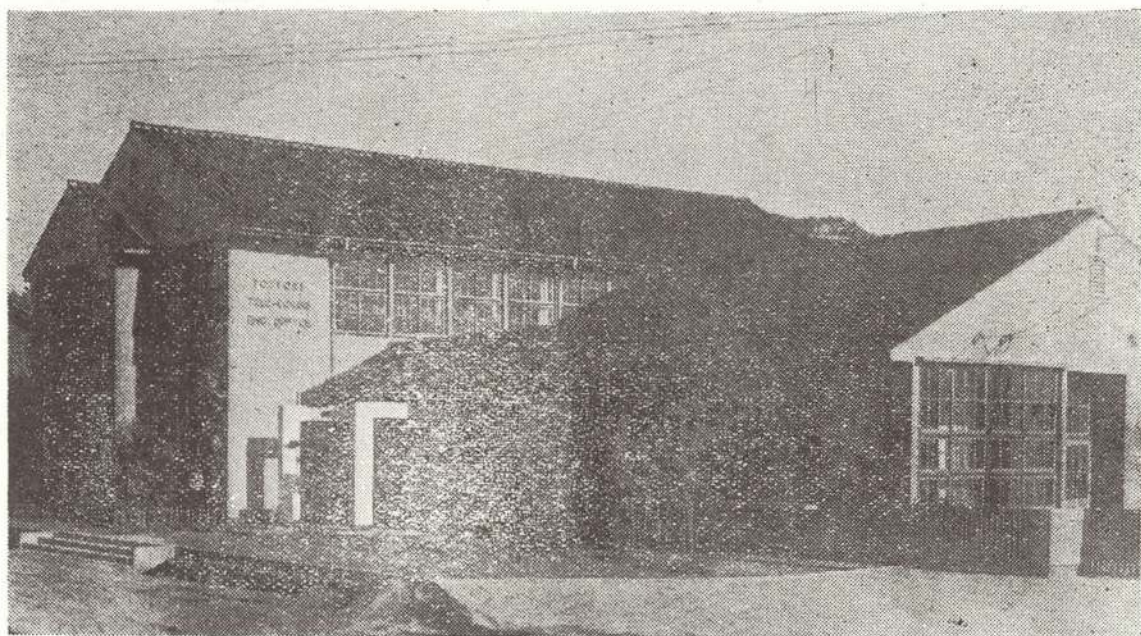
現場監督 廣 島 電 力 區

施 工 者 新生電氣株式會社

裝置 總て隠蔽式配線、燈數 71灯

照明器具朝日電機精工會社製品を使用す





鳥取電気通信工事局

設 計 廣島郵政局建築部

施 工 本館及車庫、大平土建株式會社
倉庫、株式會社、栗林組
仕上要領

所在地 鳥取市寺町

起 工 本館及車庫 22. 12. 22

倉 庫 24. 3. 3

竣 工 本館及車庫 23. 3. 20

倉 庫 24. 6. 20

總工事費、本館及車庫

倉 庫 1,678,000

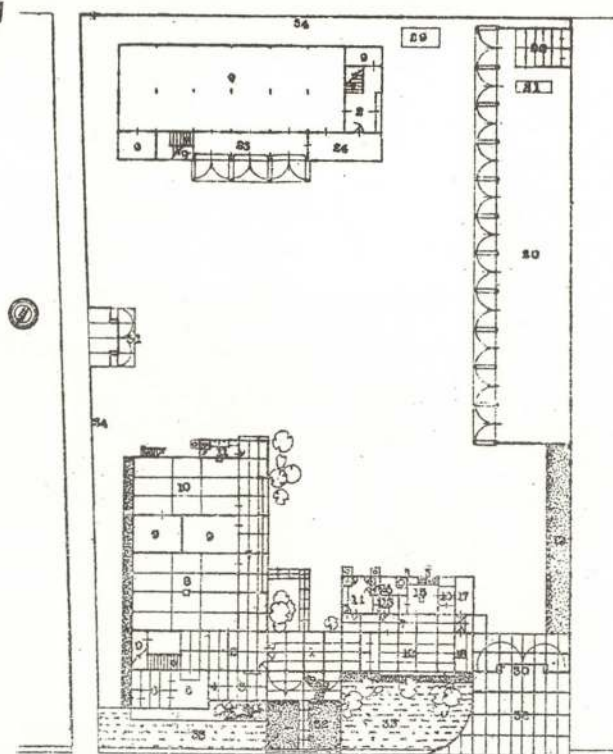
建築面積本館及車庫 1,062.00m²

倉 庫 544.32m²

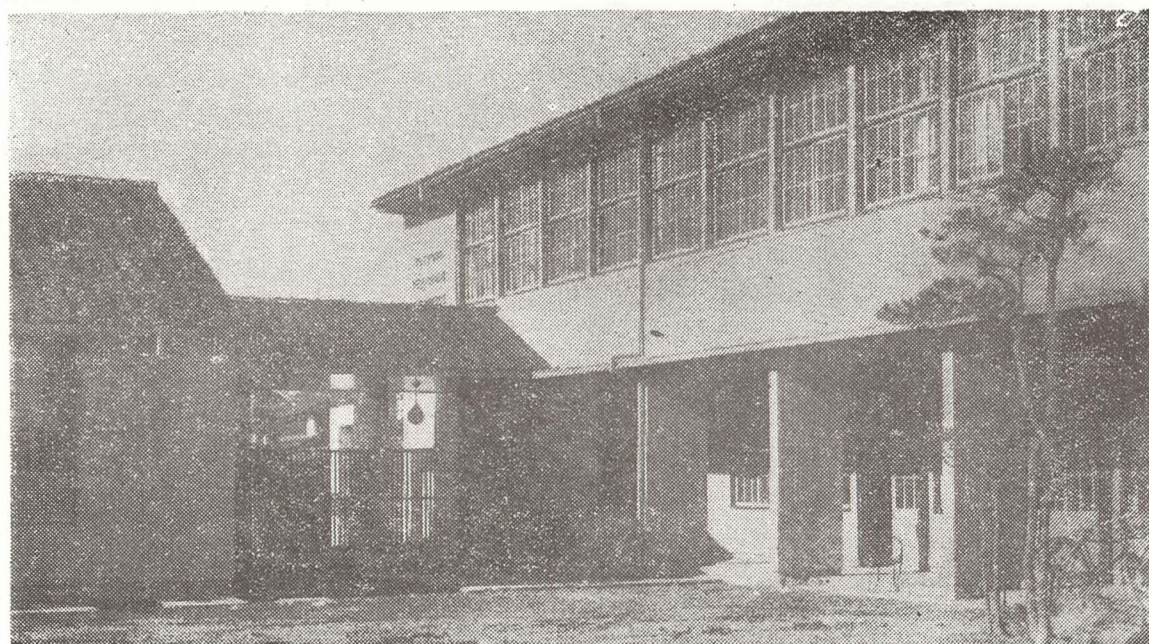
構 造 木造平家及二階建

屋 根 粘土瓦葺但し自轉車置場亜鉛鍍鐵板葺

壁 堅羽目板張クリーム系ペンキ塗
窓出入口枠、ブルー系ペンキ塗
玄関柱、白色モルタル吹付

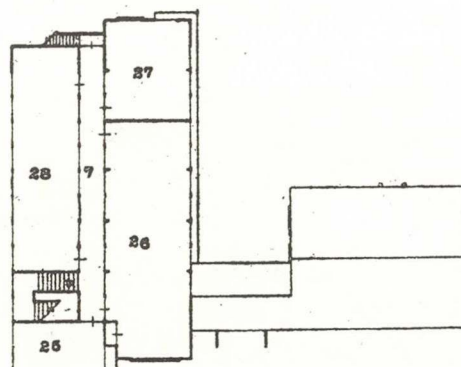
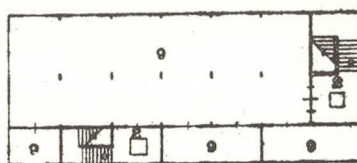


一階平面圖

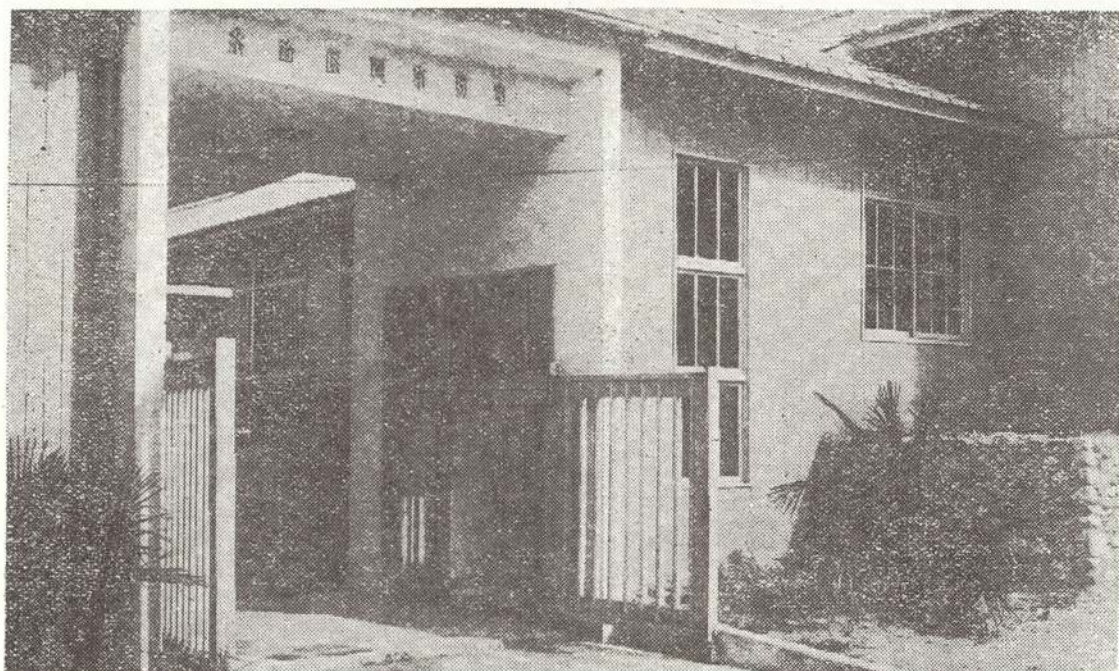


平面圖說明

- | | | |
|-----------|---|----------------|
| 1 玄 | 關 | 18 監 視 員 室 |
| 2 廣 | 間 | 19 自 轉 車 置 場 |
| 3 應 | 接 | 20 自 動 車 庫 |
| 4 受 | 付 | 21 修 繕 用 ビ ッ ト |
| 5 交 換 | 室 | 22 車 庫 用 宿 直 室 |
| 6 交 換 宿 直 | 室 | 23 荷 解 場 |
| 7 廊 | 下 | 24 倉 庫 事 務 室 |
| 8 工 員 控 | 室 | 25 局 長 室 |
| 9 倉 | 庫 | 26 庶 務 課 室 |
| 10 修 繕 | 室 | 27 機 械 課 室 |
| 11 便 | 所 | 28 線 路 課 室 |
| 12 宿 直 | 室 | 29 水 |
| 13 脫 衣 | 室 | 30 表 |
| 14 浴 | 室 | 31 裏 |
| 15 湯 沸 | 室 | 32 鋪 |
| 16 小 使 | 室 | 33 芝 |
| 17 薪 炭 | 庫 | 34 園 |



二階平面圖



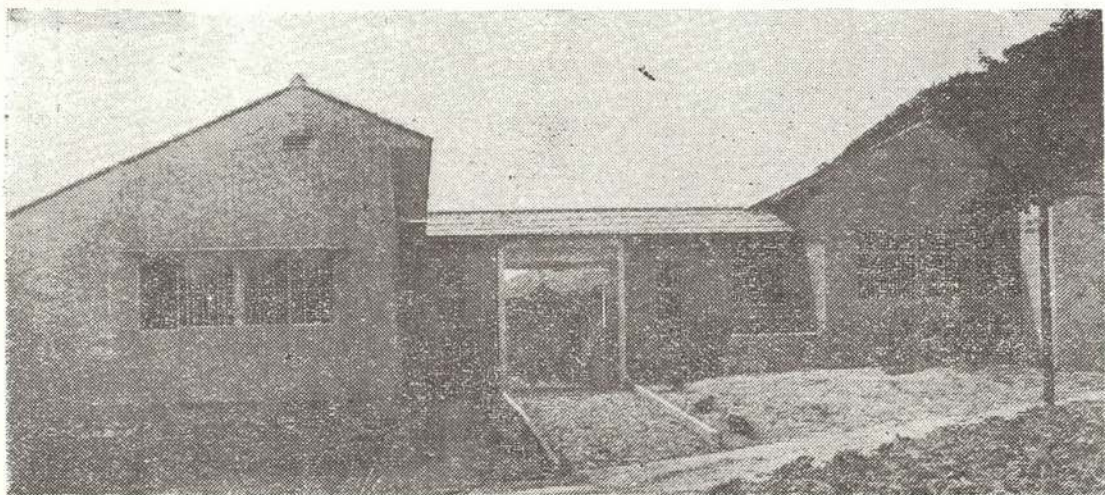
糸崎係員事務室
広島鐵道郵便局

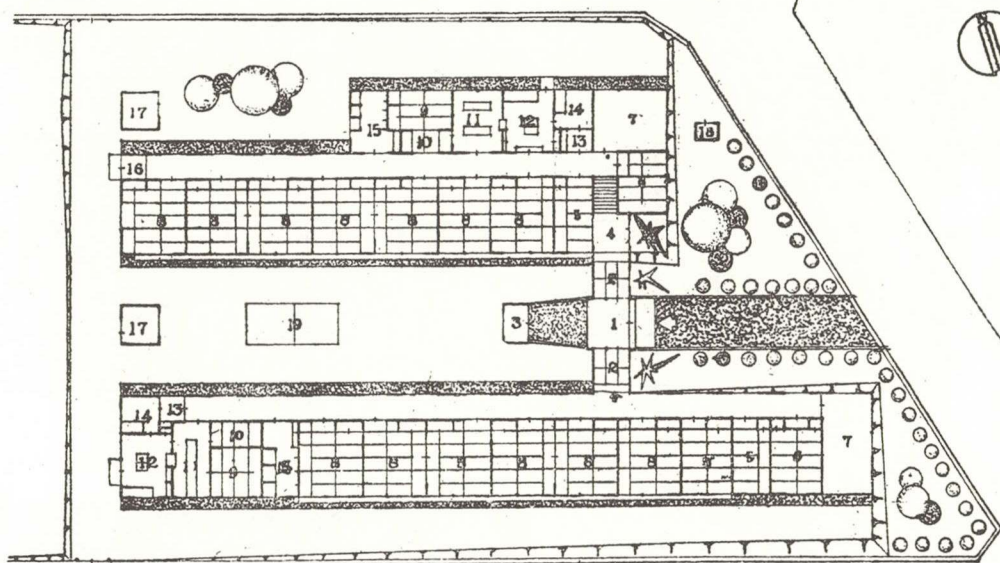
設計 広島郵政局建築部
施工 株式会社大林組
所在地 広島縣三原市糸崎町
起工 24. 1. 28
竣工 24. 4. 30
総工事費 4,930,000円
建築面積 803.25m²
構造 木造平家建
仕上要領

屋根セメント瓦葺 壁豎目板中間調緑色
ペンキ塗 窓出入口枠及建具、白色ペンキ
塗、ポーチ廻り白色モルタル吹付

本建物は広島、大阪兩鐵道郵便局局員中、郵便車乗務員の休憩及宿泊をするもので使用目的上2棟に分けポーチのみを共通とし其の他の所要室は總て2棟に分割し獨立性を加味したものである。

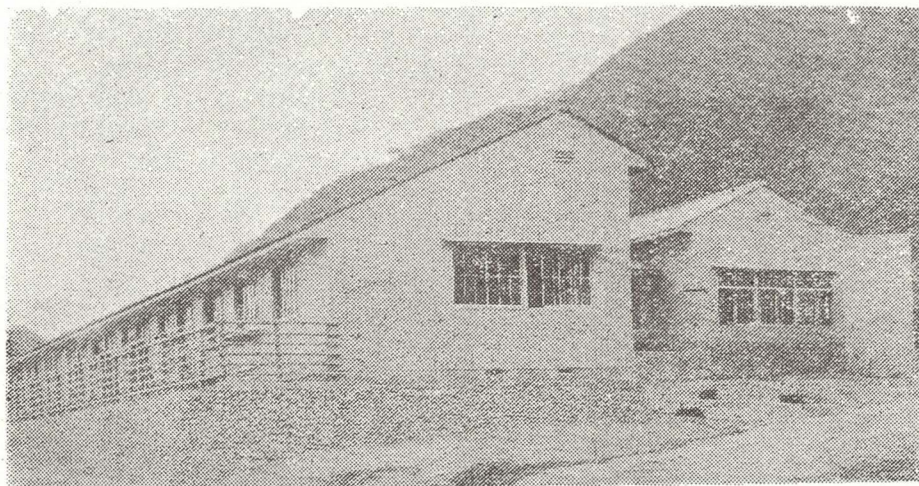
敷地は南下りの傾斜地であつて北に山南に工場地帯を通して瀬戸内海に望む山麓で敷地高底差最高4.20m南北2.80m東西2.20m 面積1,800m²である、敷地構成は東西に玉石土留にて水平にし南北は建物間をスロープとし北棟は廣間の奥に階段を取つて廊下に至る様にした

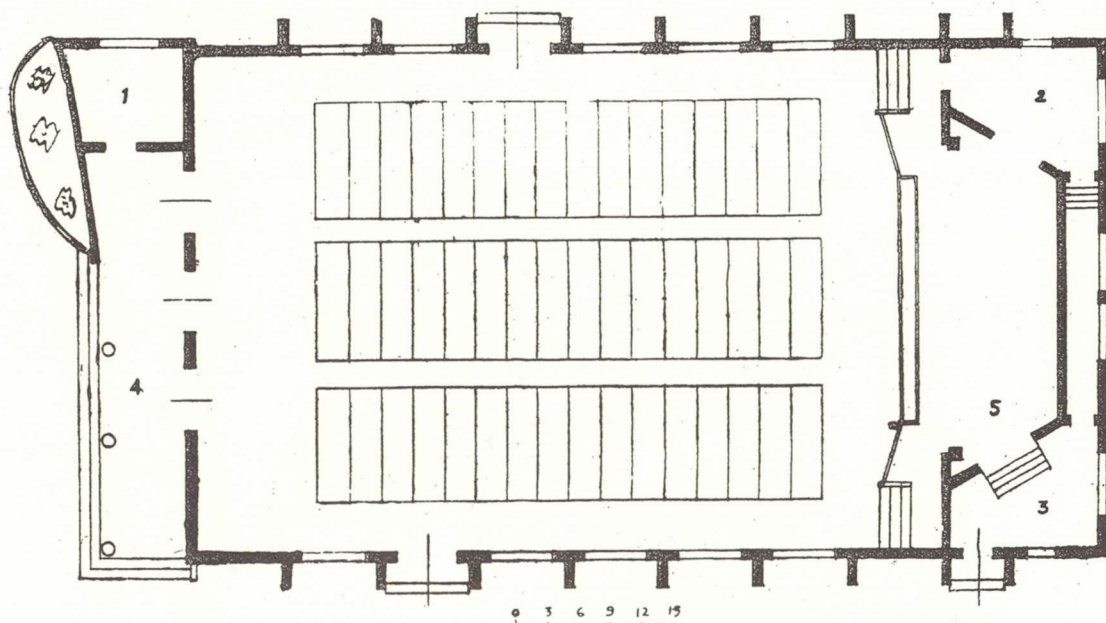




平面説明

- | | | | | | | | | | |
|------|---|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 1. ポ | テ | 6. 休 | 憩 | 室 | 11. 食 | 堂 | 16. 内 | 玄 | 關 |
| 2. 玄 | 關 | 7. 事 | 務 | 室 | 12. 炊 | 事 | 場 | 17. 倉 | 庫 |
| 3. 監 | 視 | 員 | 室 | 8. 宿 | 泊 | 室 | 13. 脱 | 衣 | 室 |
| 4. 廣 | 間 | 9. 3 | 帖 | 14. 浴 | 室 | 19. 物 | 干 | 場 | |
| 5. 合 | 監 | 室 | 10. 炊 | 事 | 人 | 當 | 直 | 室 | |
| | | | 15. 便 | 所 | 及 | 洗 | 面 | 所 | |





設計、施工 藤田組 広島支店

竣工 昭和24年4月20日

建坪 130坪

構造、仕上

木造平家、屋根勾配4寸5分

外 壁

寒水石ミチン粉入掻落しクリーム色

一部人造石洗出し、ガラスブロック張

丸柱 人造石研出し

正面出入口額縁人造石

研出し

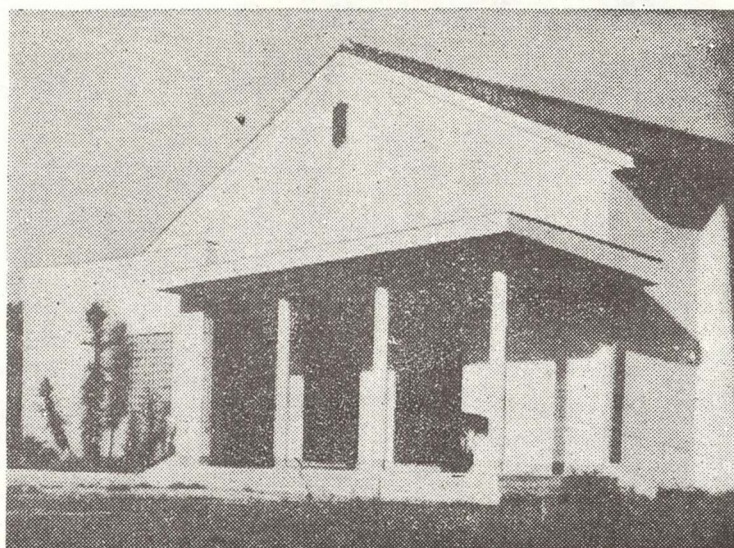
内 壁 テックス

演台漆喰

天 井 テックス

演台漆喰

屋 根 セメント赤瓦



平面圖説明

1、主 事 室

2、準 備 室

3、同 上

4、ポ ー チ

5、演 台

岡山市戦災復興

佐藤重夫

戦後の都市と住宅を顧れば、そこに並々ならぬ努力の跡を見ることが出来るのであるが、国内各都市の内、比較的復興率の高かつたと思われる岡山市の場合でも、一面には日本の持つ大きな缺點をまざまざと見せつけている。A表のように数字に見える復興率は、まことに景氣よいようであるが、今ここにその内容を、詳細に検討してみると、今後考へねばならぬことが案外に多い。

A表 岡山建築物復興状態

年月	人口	住宅	商店付住宅	工場其他	全建築面積	焼失に対する復興床面積率
21.12.1	121,476	20,892	5,513	4,140	190,104	50.8%
22.12.1	135,819	23,503	6,202	4,658	235,920	62.6%
23.12.1	144,243	25,070	6,616	4,968	258,828	68.8%
24. 8.1	149,435	26,115	6,892	5,176	281,748	74.9%

先づ都市計画についてみると、終戦後の假建築が都市道路網計画の立案まで待ちきれなくてどんどん建ち並んだことは、縣市當局と市民双方の無責任そのものであつた。(A表及B表参照)それに都市計画立案が、その根本である立地計画に無關係(C表参照)且つ市民の不理解の内に進められると共に、市民は社會性を輕視した利己に走つたのであつて、結局正直者が高い費用で遅れた工事をする状態となつて、都市計画の信を落したことは

B表 都市計画と建物の出来状態の様子

年月	記事
20年8~12月	都市計畫立案中建物も僅かしか出来ず
21年始	道路網決定前に建物を作ることの了解運動有り
21年6月13日	都市計畫街路網決定
22年~23年始	都市計畫反對運動有り
24年1月30日	道路網縮小改正決定
24年2月10日	換地計畫完了
23年4月13日乃至 24年7月4日	換地發表

否定出来ない。終戦後しばらくの去脱後、いち早く復興の意に燃えた商工業者は、道路網決定の前であつたとわいえ凡そ道路敷となるべき處に無償徹去を覺悟に一部では無斷建築をも進めてしまつた。これは道路網決定が手間取つたことが原因であるが、その根本には現行方法の不備があり、全体としての施工者の人格的不備と大人物を得なかつたからではなからうか。即ち換地の方法と概念的な道路設定の方法のみをもつてかかる都市計画に至急にしようという點に最大の矛盾を内蔵していたことは筆者のつとに指摘した(註一)處であつたが、これを救済すべきプランナーの仕事がぬきにされ、而もこれを導くべき人格の缺陥があつた爲直ちに土木技術的狹義の技術に全てが投ぜられたのであつた。従つて市民もなかなか承知しがたく各種の反對運動なども起きて、これを説得し又は善導する力も學び取り得ないままに、都市計画は一步一步亂れ後退するのみであつた

これは第一の今後の都市計画の壁跌であつた。換地計画も漸く昭和23年4月13日以後、同24年2月10日に至る間に逐次決定を見たのであるが、この時既に出来ている要移轉戸数は10,000戸約120,000坪で無許可建築を推定して含めると約150,000坪に近い建築を移動する事になるのである。まことに膨大な費用を要する事云うまでもない。市の補償費の他に徒費となる基礎費用、勞力等を概算して坪當り平均4,000圓と見積つても6億の金を要し、市の換地費用の4億5千万圓を全部建物移動に使つても、一部の補償にすぎぬ事になり、結局一部の補償ということになるであろう。然し現在(昭和24年8

C表

年月	記事
21.6.13	都市計畫街路網決定
21.8	土地利用計畫案立案決定
22年中	土地利用地域地區案作製
23年中	地域、地區案改訂作製、現在に至るも未決定
24.1.30	都市計畫街路網改訂決定
24.3	防火地區決定

月18日)迄に移轉した678戸、8136坪に對する努力は大きく買はねばならぬ。全体の7%に過ぎぬとは云へ、既に茲まで進んだ事は今後の迫車にする意味から市民もこの換地工事急進に力と誠意を示し一日も早く完了を願う意味からいささつ如何に係らず大いなる賛意を表するものでなければならぬ。換地を早く早くと主張して止まないのもこの急速實施のみが現行方法の不備を少なくする爲の救済法だからである。さてこんな調子の都市計画についても一つ根本的不備を指摘しない譯にいかない。それは岡山の例で云えば、同じ側の三階建コンクリート造を3軒も移動しなければならぬ様な幹線道路の設定を見る様な、舊來觀念にあまりにもとりつかれた(云いかけるとあくまでも道路の直線といささつ面白に重い)現行都市計画委員會(狹義技術の爲の名目的存在)は、戦災後と云う絶好のチャンスにただ今迄の幅員擴張と區劃整理とにのみ利用し、今一步より擴く根本的に路線の振替え、緩曲線利用や立体計画、流動計画、衛生計畫、環境美化經濟計畫等に思いを及ぼす事を次期又は次位に考えてしまつた事であつた。

特に取扱方についても自治体としてやりよくなつた筈なのに假設建築の取扱については誠にまづより技術的に親切な方法を採用すべきであつたのである。住宅造營獎勵の線に大いによるべくして且都市計畫にあらゆる段階に於て矛盾しない方法を探り得たのであるが、今迄住宅獎勵と都市計畫とは全く相反し、無理してまで作る家は技術度の甚だしく低い焚付け然たる小屋に過ぎぬもので社會の無理解と當局方針の不備の如實の表現そのものである。

では戦後に建ち並んだ建物を一瞥してみよう。最初の頃の柿葺小屋は他の都市とも同様であつたが、是が中央商店街より逐次その商店の形を昔の貌に替える様になつて來た。特に昭和23年より24年にかけて中心商店街とも云うべき表人ヶ町方面は大体この過程を経て表面ほんとのファサードのみの建築と變つて來た。タイル貼りあり、凝つた格子あり仕上りも各個様々で、その媚態誠に大阪心齋橋通りの小形と思えばよい程である。然し果して街は美化し清潔になつたであらうか。

私はこの虚榮に「浅はかな」と共に「見えずい

た汚なさ」を贈る一人である。科學性のない建物はより以上の差をそこに求め様とする事は無理であり、せめてまずくとも統一でもあればまだ助かるというものそのそれもない。防火の事等一顧もされてないのに、坪何万圓もするタイルが貼つてあつたり高價な無駄(裝飾)がつけてある。一面此の家の住居部分は今すでに陽のあたらない室となり風など通りもしない。純住宅として小規模ながら良好なものもないではないが、これはほんとに數がまれて、多くは純住宅と云へども隣地に隣家が建つて來ると不衛生になつてくる運命の形のものが多く、基礎的考慮を拂つていられるものは例外ほどである。終戦5年、デパートの屋上より見た岡山市内は凡そ空地が見えなくなつて瓦や柿板の亂脈な重なりが見えるのみとなつたのを考えれば早いものだとも云える。然し火災、風水害、地震を思い社會の不健全精神の事を考えると、この瓦と柿の捨場が緑なす雑草の原でもあつたならとさえ皮肉にも思はれて、不健全そのもののシンボルの岡山市の眞の復興はこれからだと考えざるを得ない。

我々の復興こそ眞に遅々たるものでそどうに空費した5年とこの間の努力の不經濟ぶりに實感を催すのは私一人のみであらうか。

それにしても岡山市の復興を語りつつこの不終尾を取えて御披露する所以は、現下の一例として岡山を示し各都市の眞の復興を切に希う爲である復興は眞にその根源としての精神の健全化、方法其の他一般造形への深い理解、科學性の向上、これなくしては成就し難いことを特に強調して、以上岡山市復興に付いての回顧を御参考に供した。

註一 昭和21年8月 土地利用計畫立案の際の勸告

昭和22年3月 岡山建築展に表示

〃 3月 岡山市都市計画革新期成會の
依頼により公表

〃 7月 岡山市公聴會に發表

(筆者・株式會社佐藤重夫建築事務所長)

統計から見た廣島縣下の住宅復興

會 根 田 彰

原爆の廣島市を始め呉、福山の3戦災都市をもつ廣島縣下の住宅不足は終戦直後に於て約11万戸を算したのであるが、其の後約4年間に5万5千戸の家が建ち、現在では不足数は約5万戸ばかりに迄縮められてきた。この速度は可なり早い様に思はれるが、今後としては、自己資金による住宅建設もあらかた底を衝いたと見るべき根拠も多く

この建設のカーブは當然低下するものと思はれる此の間、政府の計畫住宅として建設されたものは住宅營團の應急住宅を含めて8,700戸ばかりで復興全戸数の16%に當つてゐる。

住宅復興5ヶ年計畫

この不足戸数を今後5ヶ年で解消せんものと、昨年度末廣島縣綜合開發委員會に提出した「住宅

第一表

昭和二十三年年度 住宅建設											
市			部			市			尾		
種別 月別	廣島市			呉市			福山市			尾道市	
	一般住宅 戸数	併用住宅 戸数	小計 戸数	一般住宅 戸数	併用住宅 戸数	小計 戸数	一般住宅 戸数	併用住宅 戸数	小計 戸数	一般住宅 戸数	併用住宅 戸数
	坪面積	坪面積	坪面積	"	"	"	"	"	"	"	"
4	274	54	328	19	9	28	33	16	49	19	
5	164	223	387	197	168	365	121	149	270	96	
6	143	48	191	73	38	111	71	65	136	31	
7	27	218	245	975	139	146	99	127	226	121	
8	184	58	242	36	15	51	47	14	61	25	
9	128	238	366	91	185	276	117	159	276	79	
10	118	41	159	15	19	34	34	15	49	15	
11	91	145	236	112	140	252	135	169	304	95	
12	78	53	131	19	23	42	23	11	34	8	
1	127	168	295	120	129	249	130	164	294	135	
2	47	49	96	22	17	39	25	37	62	9	
3	140	161	301	132	167	299	150	163	313	127	
4	94	67	161	35	29	64	6	5	11	9	
5	136	171	307	130	186	316	98	216	314	141	
6	113	81	194	40	19	59	24	5	29	7	
7	141	188	329	120	191	311	147	214	361	278	
8	163	35	198	40	29	69	73	36	109	23	
9	161	230	391	124	167	291	130	264	394	125	
10	57	26	83	24	16	40	19	16	35	7	
11	160	178	338	117	131	248	142	240	382	160	
12	106	58	164	23	16	39	71	12	83	4	
1	149	115	264	116	133	249	116	210	326	127	
2	59	56	115	31	18	49	24	45	69	21	
3	165	130	295	110	158	268	133	158	291	104	
計	1441	626	2067	377	248	625	450	274	724	178	
	119	176	295	118	154	272	123	188	311	152	

復興5ヶ年計画」案によれば、毎年建設戸数16,400戸、その内計画住宅3,400戸となつていのであるが、民間の一般住宅も其の後著しい減少の兆しを見せ始めたし、計画住宅も九原則の實施等の爲、今年度は僅か690戸の割當に過ぎない有様ではこの復興計画案も初年度に於て早くも再検討を迫られている次第である。

㊦一般住宅建設状況

昭和23年度に於ける一般住宅増加を、建築許可の面から拾つたのが第1表である。住家の新築及改築案の合計を月別及び都市別に見ると、毎月7～8千戸増加しその内市部が4割強を占め、又併用住宅の比率は、市部に於て約3割、郡部で1割となつてい

これは22年度に比較すると月平均1万1千戸より3割の減少であり、而も前年度は略5割であつた市部の比率の低下は、この減少が特に都市に大きく現はれていることを示すものであり、尙その上併用住宅の割合の増加は専用住宅の減少が一層甚しいことを裏書きしている。

㊦計画住宅の實績

終戦後の計画住宅の總數は當初に記した通りであるがその過半数は住宅營團の業績であつて營團なき後の國庫補助住宅は毎年誠に僅かなものであつた。即ち22年度900戸、23年度1,200戸、24年度は690戸と云う程度であつて、年々の増加戸數の1割にも足りないこの數字は、せいぜい庶民住宅の質的レベルを示す單なる見本程度の意味しか

調 査 表

住 宅 課

市 部						郡 部						合 計	
道 市		三 原 市		計		郡 部		郡 部		合 計		合 計	
併用住宅 戸數	小 計 戸數	一般住宅 戸數	併用住宅 戸數	小 計 戸數	一般住宅 戸數	併用住宅 戸數	一般住宅 戸數	併用住宅 戸數	一般住宅 戸數	併用住宅 戸數	小 計 戸數	一般住宅 戸數	併用住宅 戸數
"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
8	27	15	1	16	160	88	234	9	243	594	97		
163	167	89	6	98	100	194	138	171	174	121	278		
9	40	18	5	23	341	165	737	19	756	1078	184		
136	124	129	128	129	925	134	124	173	125	107	149		
8	33	10	4	14	302	99	882	27	909	1184	126		
140	84	104	138	113	117	204	134	218	136	140	203		
9	24	7	4	11	189	88	571	19	590	760	107		
88	92	81	117	94	100	140	129	148	129	122	142		
7	15	7	8	15	135	102	440	22	512	625	124		
107	124	143	145	145	127	169	124	202	128	125	161		
7	16	35	6	41	138	116	194	35	229	332	151		
120	128	133	150	133	145	125	129	170	134	135	163		
9	18	11	7	18	155	115	465	20	485	620	135		
161	151	103	182	140	134	226	100	202	103	108	128		
9	16	10	7	17	194	119	360	26	386	534	145		
462	388	491	474	485	160	210	140	204	149	151	222		
14	37	17	7	24	316	121	181	46	227	497	167		
145	133	148	160	151	114	203	141	138	141	124	303		
3	10	6	1	7	113	62	223	12	235	336	74		
430	241	211	170	203	150	133	147	205	150	148	450		
2	6	11	7	18	215	95	307	13	320	522	108		
195	150	140	141	140	134	165	107	128	107	118	123		
7	28	11	12	23	146	138	627	24	651	773	162		
147	115	100	160	135	136	143	133	151	133	146	147		
92	270	158	69	227	2604	1308	3271	272	3543	2875	1580		
180	140	150	162	160	122	126	128	171	130	127	125		

ないのであるが、一般には往々に過大評價されてこれで恰も住宅不足が解消するかの様な期待を持たせているのは戒心を要する。

故に本縣では個々の住宅の質的レベルは勿論、團地としての環境整備に重点をおき、又不燃住宅のサンプルを所々にばら撒く事によつてその啓蒙的意義を貫いて來たつもりである。この意味で巷間よく言はれている低質多量建設主義には斷乎として闘はなければならない。

23年度及24年度の建設地別戸数は第2表の通りである。

尙この他分譲住宅は甚だ振はない状態で、融資の伴はない限りこの方策は殊ど意味のないものである。しかし一般の要望としては極めて強い線を示しているので、今後無盡等と結びついて稍々開拓の道を開くかも知れないが、寧ろ國家的方策で低利長期資金貸付の道を開くのが最も健全にして妥當な政策であらう。

●今後の復興方式

從來我が國の都市住宅の7、8割が借家であつたと云うその沿革を今後は全面的に覆へして、公營住宅主義をとるならいざ知らず（その爲には國庫補助の總額を今の10倍位にしなければならない）原則として住宅は個人の所有である様な形で行く限りは、低利資金の長期融資をはかることが最も大切なことであり、而もこれは政府として大規模な政策として取り上げる以外に全く處置の取りようのない問題である。資材事情も稍明るへなつた今日、敷地問題の困難もこの方式でゆけば打開の道も余程楽なものと思ふ。（24. 8. 20）

第2表

昭和23、24年度庶民住宅建設計畫

建設地	構造	23年度	24年度
廣島市	木造	640戸	220戸
	不燃	116戸	120戸
呉市	木造	250戸	165戸
	不燃	0	12戸
福山市	木造	110戸	85戸
	不燃	0	12戸
三原市	木造	50戸	30戸
五日市町	木造	50戸	20戸
計	木造	1,100戸	520戸
	不燃	116戸	144戸

（他に轉用30戸あり）

（筆者・廣島縣住宅課長）

大阪市建築局機構改正

今般下記の通り改正となつた

建築局長	理事	井上新二氏
庶務課長	主事	武居政夫氏
住宅課長	理事	桐本楠雄氏
營繕課長	技師	増井敏克氏
資材課長	技師	栗本榮一氏
用地課長	主事	木本米次郎氏
整地部長	理事	高津俊久氏
整地課長	技師	八木健二氏
第一換地課長	主事	森本修三氏
第二換地課長	技師	岡村市太郎氏
移轉補償課長	部長兼務	

建築 塗装工事 請負 其他
SHIBASO
圖案 設計 裝飾 製作請負
看板

株式會社 柴田惣兵衛商店

廣島市研屋町85（紙屋町電停）TEL.2)0966

支店 下松市榮町4丁目
出張所 光市光井野原3024
岩國市人絹町三笠町

家のクリーニング

★ 古家屋が新築同様となる美素工事 請負
★ 新築家屋にお手入のいらぬ美素工事
★ 石・タイル洗淨工事

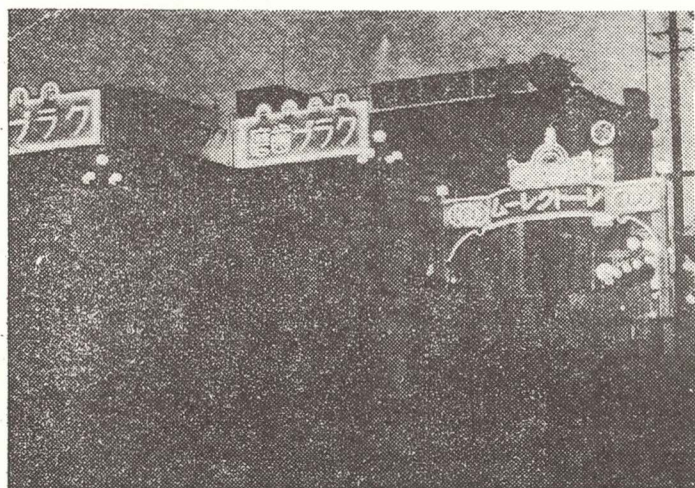
株式會社 美素工業所

大阪市東區瓦町（堺筋）三和ビル三階

電話 新町 5777番

一 閃 を 契 機 と し て

中國第一の政治、軍事都市として數十年の間、山陽道の繁榮を設計していたヒロシマはあの悲劇的一瞬を契機として、新生の再構成を余儀なくされたが、爆心に近いこの寫眞にわれわれはその決意を新にしよう。

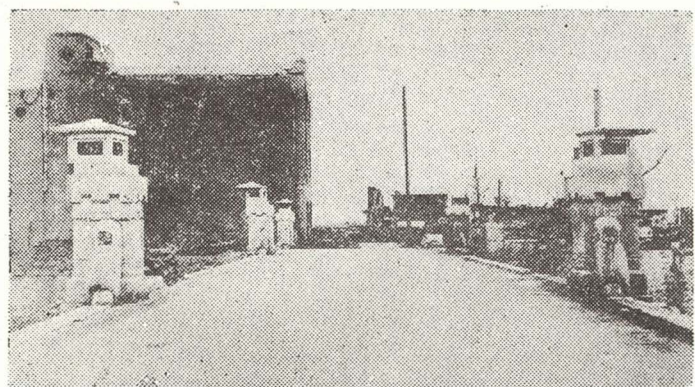


戦 争 前

元安橋より大正屋

呉服店を望む。

爆心地より西方 200m の盛り場も大東亞戦争となるや「ネオン」は消へ高欄飾燈は供出され 淋しい姿となつた

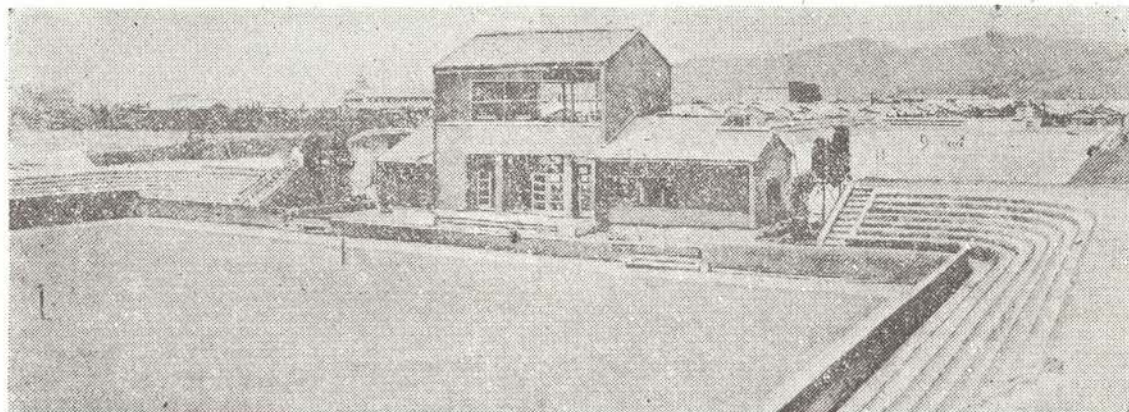


被爆直後

元安橋より元大正

屋呉服店を望む

200m 直前方の上空より爆風を受けた爲 高欄は川中に轉落 飾燈はシムメトリーに移動して居る 元大正屋呉服店は鐵筋コンクリート造り屋根「スラブ」落下 バラベツトは折れ 側壁も吹き抜かれて居る 其の他の建物は姿もない

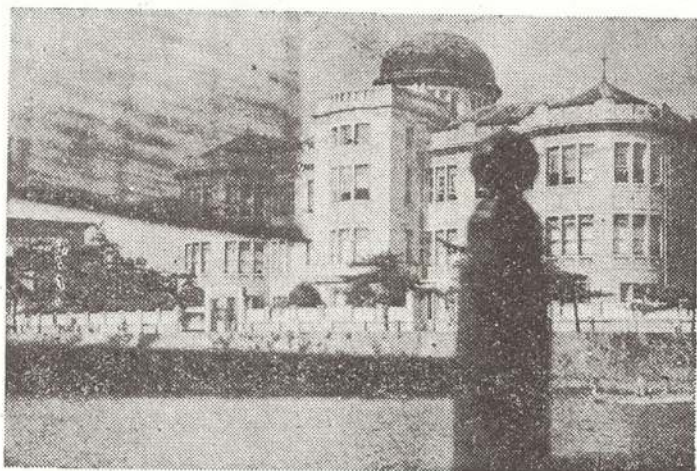


今夏開催の第3回マ杯庭球大会の行はれた新装なつた中央テニスコート

戦争前

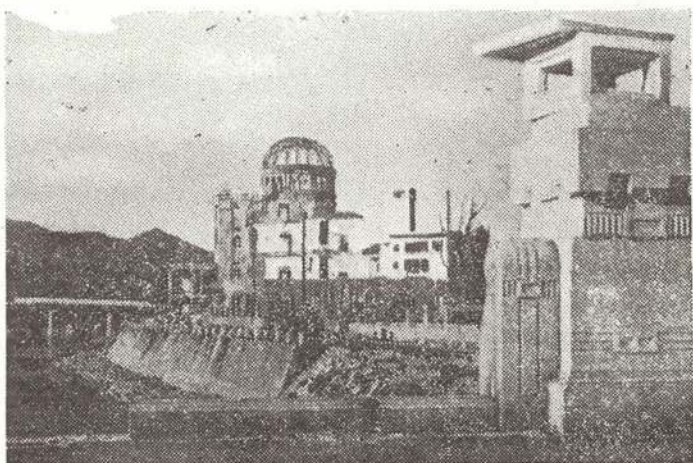
産業奨励館 広島

の味 船より文化の殿堂 産業
奨励館を望む ありし日の姿



被爆直後

原爆を受けた元安
橋と産業奨励館 爆風を受けて橋
の燈籠の笠石が均等に移動して兩
側に開いたものであるが 片方が
紛失した爲に 現在では均衡の面
白さは見られない 爆心地より90
m~100m





原爆四周年を迎へて

二 村 四 郎

銀の翼に乗つて平和が來た。原子の偉力は戦争放棄の「ポイント」であつた。茲に其の4週年を迎へ新たな平和の鐘の音は全世界に響き渡つた。かつて七大都市を誇つた広島市の被害状況が、戦災地都市と余りにも異つて居る關係上、昔の広島を偲び當時の模様から筆を起すことにする。

往時の広島

今から凡そ355年前、天正17年驍將毛利輝元が太田川の「デルタ」に居城を定めて10年、關ヶ原の役に會い防・長2州に削封され、其の後を受けて福島正則が入城した。在城18年、幕府の忌避に觸れ信濃に左遷され、續いて浅野長晟が紀伊和歌山から移封入城した。浅野家は安藝一圓、備後8郡42万6千石を領し12世250餘年の永きに亘り、藩を治めて産業を奨励し、城下廣島の基礎を固め、明治4年藩政を奉還した。

明治22年4月1日広島市制を布き宇品港の完成を見、27年6月1日山陽鐵道が広島市迄開通するや、大陸に對して水陸交通の要衝の地位を占め、日清戦役閉戦となるや明治大帝の大森進轉遊ばされるに至つた。

爾來、各戦役事變の都度重任を果すと共に其の

刺戟によつて市勢發展に拍車が加へられ、自他共に許して軍都と稱し人口40万を超え、生産力2億圓を誇り尙躍進途上にあつた。

一瞬の潰滅

大東亞戦争最後の日とも云う可き昭和20年8月6日快晴、前夜來斷續した警報と同時に西南の碧空に銀翼2機白雲を引いて大旋回、爆音失せて警報解除に「ホッ」とした広島市民は勿論のこと近郊の義勇隊員も炎天下に半裸となり、ドイツの「ベルリン」「ハンブルグ」の疎開よりも完璧であると米誌「ライフ」が評價した広島防空に挺身して居た。此の時、突！まことに突如として閃光天に満つると共に世紀の一大草變が現出した。時に午前8時15分

氣壓	61.6
氣溫	26.7
濕度	80.0
風速	南々東0.8米
雲形	卷雲多く卷層雲・積雲あり

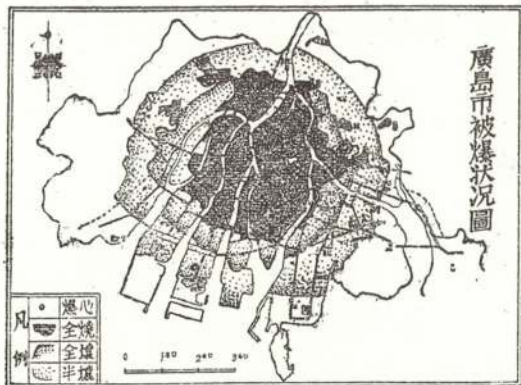
の氣象下に投ぜられた世界最初の原子爆弾は、

※ 上掲カットの寫眞はマツカーサ道路

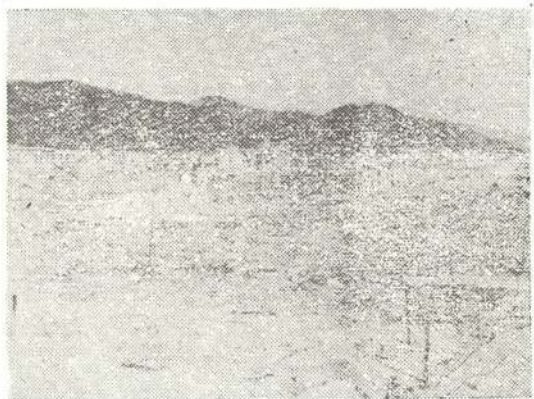
市内を流れる七つの川に挟まれた広島市も一瞬にして破壊された。即ち広島市の中央、高度1,500米附近で「マグネシウム」爆発様の青白い閃光を發し「ボン」と軽く炸裂した後、爆弾は赤く太い火柱を引いて6,7秒間急速に落下、地上約570米上空に至るや大爆發した。此の爆發こそ強裂極りないもので、直径約50米位の小さな太陽とも云う可き火の球からは赤青色或は茶褐色味を帯びた火焰を四散し、一尺厚の「コンクリート」をも通すと云う華氏約2万度の猛烈な熱光線を放射し地上2秆圏内は毎々く灰塵と化し輻射熱は7秆遠の山林をも焼きつくした。爆彈落下後炸裂までの以時差は約100秒、爆發時の輻射熱の持續時間は2秒前後と考へられる。銀行の石段に原子熱を以て焼き付けられた人間映像が、世界のどこにあろうか。

建物疎開の爲め勤勞奉仕中の市内中學校生徒1、2年は「ニウム」の弁當函を片身に残したのみで其の姿はかき消されてしまった。

明日の命も知らず焼けただれた重傷の身で親を弔ひ、子を弔ひ夫を！妻を弔う妖火は瓦礫の凹みから10數日間も暗黒の夜に點々として狐火の様に見られた。又強烈なる爆風は1秆以内にある煉瓦石造建築を潰滅、鐵筋「コンクリート」造の近代建築と雖も大破し危險ならしめた。木造建物は2.5秆以内は全壊、3.5秆以内は大破、市内の家屋で其の儘住へる家は1戸もなく建具、硝子の破損は12秆以上にも及ぶ程強烈なものであつた。又爆發後5分乃至10分後に市の北部は雷雨が襲來した。



家屋被害面積市内全部 半壊半焼以上 約92%
被害面積



アトム広島 市廳舎屋上より爆心地を望む

かくの如く數々の奇跡と慘事を残して非戦闘員12万の人命を一時に奪ひ、50年の文化を一瞬にして地上より葬つてしまった。

復興の歩み

傷ついたものは勿論のこと昨日の健康体も次から次へと原子症を起して斃れて行く。其の當時「75年間不毛の地」「生物の生存を許さざる地」として父祖傳來の廣島を捨て、周邊の田舎に縁故を求め、辛うじて住居を得たものの受入農村では罹災者に對する同情も長くは續かなかつた。半年ならずして21年の春ともなれば彼等は廣島再建を目指して歸つて來た。原子沙漠には「エメラルド」色に萌え出た鐵道草が彼等を迎へた。彼等は希望に輝いた。

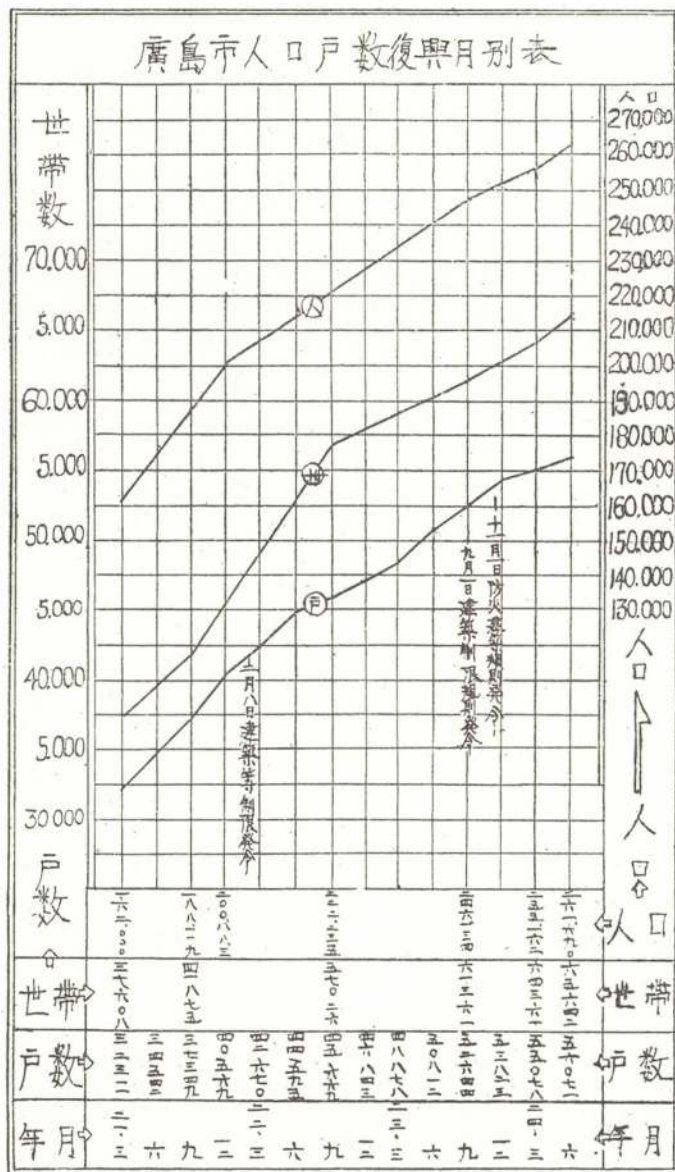
「ようし！草が生える位なら…」

建設者は奮い立つた。其の年の5月からは目覺ましく槌の音が響き渡る様になつた。然し其の頼母しい響きも長くは續かなかつた。彼等は「ウラン」元素を呼吸する爲め著しく抵抗力を失つて居た。白赤球が50名以下となつて斃れた。そして又も寒い木枯の吹き荒ぶにまかせより仕様がなかつた。

やがて柳の芽もふく春陽と共に勃然と起る都市再建の意慾は又も槌の音となつて響き、うらかな陽を浴びて柱が建てられ棟木が上つた。其の足跡をたどつて見よう。

此の間廣島市も戦災都市と同様苦しい財政状態と用地難になやまされながらも、昭和20年度に18戸21年度に436戸、22年度に934戸、23年度に

廣島市人口戸数復興月別表



焼けつく太陽を全身に浴びて、教える先生も習う生徒も汗と塵にまみれ焼け残り煉瓦に腰掛けて学ぶ姿の尊しさは涙なしでは見られる光景ではなかつた。又寒風吹く冬の日には防ぐ建具も壁も無い雨漏れする名ばかりの教室で、鉛筆も「ノート」も吹き飛ばされ手は凍へて字も書けず、吹き込む雨に雪に傘さして「オーバー」着て学ぶ雄々しい姿を見ては復舊に修繕に奪ひ立たざるを得なかつた。然し當時の建築資材は何物も道入らなかつた。不得止、倒壊校舎を解体しては補修材とし、古釘を拾ひ集めては此れを延し、物置と云はず工場と云はず舊兵舎は勿論、距離の遠近を問わず、凡そ雨露をしのぎ得るものは轉用して校舎に充てた。硝子不足の爲め採光面積など問題にして居られなかつた。

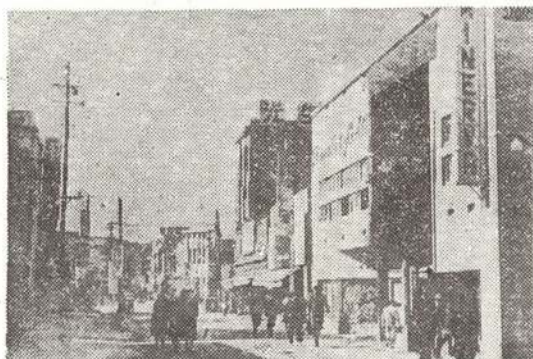
かくして迎える4度目の原爆記念日には、市立學校罹災延坪4万9千坪の中3万1千5百50坪、662教室を復興して、就學兒童3万6千234人の2部授業撤廢に邁進している。此の外、市廳舎、病院、圖書館、公設市場、市營住宅、工業指導所、火葬場、其他の公共施設建築物も豫算の關係上最小限の應急修理を施し、他日明裝の出來得る晴れ姿を待つてゐる。以上此等の建築に要した費用は3億160余万円で本市復興豫算の大

半を費している。

平和都市建設

廣島平和記念都市法は制定された。最早や廣島市は一地方の廣島では無い。日本の廣島でもない。世界の廣島となつた。最初に投ぜられた原子爆彈に潰滅した苦惱のみをいつまでも追憶して居てはならない。此の慘禍のみを記念してはならない。原子によつて世界恒久平和の招來を記念す可きである。其の記念都市が廣島に設定

654戸 合計2042戸の市營住宅を建設して來たが市民の慾求を満たすには遙かな距りがある。現在人口26万余の中都市で猶9871世帯は宿木生活をして居るとは云へ復興の態勢は着々として整へられた。中にも疎開より無事に歸つた學童2万に對する措置も其の一つであつた。國民學校41校中16校は烏有に歸し其の他と雖も授業の出來得る學校は1校も無かつた。中學校も高等學校も大學校も同様であつた。



復興途上の本通り筋 爆心地より250m

せられた。戦争の罪惡と慘苦を最も深く体験した広島市民こそ世界平和の提唱者であらねばならぬ。我等は8月6日を平和祭として居るが、

計らずも此の運動が世界26ヶ國の人々によつて No More Hiroshimas の「スローガン」の下に「世界平和デー」と、又世界宗教會議や平和運動は広島で開催しようと云う提案も起りつゝある。

世界の眼は広島に集中している。かかる都市の広島市民は單なる戦災復興ではなく世界恒久平和を象徴する都市を創建す可き責務を負はされた。此の大事業の構想には各層の熱情と才能を結集し、世界平和の發祥地として、聖地として、それに相應しい恒久平和を象徴するに足る理想的な文化都市の建設に精進しなければならぬ。

(筆者・平和都市建設株式會社建築部長)

広島市戦災復興事業現況表

(全体計畫は昭和21年度より同25年度に至る當初5ヶ年計畫)

事業名	全体計画		昭和23年度末現在			摘要
	事業量	事業費	事業量	事業費	進捗歩合%	
土地區劃整理	400,000坪	222,761,800	換地券表 坪 3,212,000	52,300,000円	23.6	進捗歩合は昭和21年度より 昭和23年末迄に至る 事業費を全体計画事業費にて 除したるものである。
街路(幹線補助)	31,602米	128,987,337	5,692米	5,891,134	4.5	
	131,352.2米	196,889,216	15,700.2米	5,963,330	3.0	
危険建造物處理	7,227坪	2,084,929	7,228坪	2,084,929	100.0	
河川水路	6,158米	36,660,000	1,133米	2,200,000	6.0	
上水道	361,000米	57,900,000	54,650米	2,643,000	4.0	
上水道復旧	70,180米	29,851,750	6,582個所	10,003,750	33.5	
下水道	51,110個所	524,652,600	419米	4,740,000	0.9	
下水道復舊	175,050米	8,656,500	9個所	5,426,500	62.7%	
瓦	2,000米	16,382,767	13,904米	1,290,220	7.8	
鐵道軌道(撤去布設)	5,873米	8,145,734	206米	27,189	0.3	
	5,873米	103,945,498	206米	1,892,811	1.8	
計		1,336,918,131		94,462,863	7.1	

小野田白セメント

小野田セメント製造株式會社
特約販賣店

広島商事株式會社

広島市楠木町1丁目558

電話(3)0476・0773

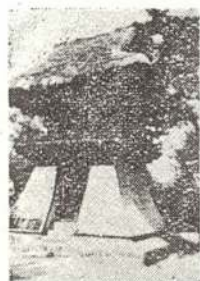
平和都市建設株式會社

社長 木原七郎

都市建設に關する一切の設計監督
旋及幹相談に御利用下さい。

広島市八丁堀八三番地

電話中(2)2960



新日山
安國寺

不動院梵鐘樓に就て

橋 本 秀 夫

広島県内に於ける特別保護建造物は、其の大部分が室町時代の作であり、此處に取り上げられた不動院も、之に屬し、金堂と梵鐘のみが國寶として指定をうけ、梵鐘樓は其の選にもれて、永年の風水害や戦災によつて荒廢をきたし、修復の手のさしのべられるのを待つて居る現状である。

筆者橋本秀夫君はつとに古建築の調査研究に努力を續け、広島工業高校内の郷土文化研究會のメンバーとして活躍し、本寺復舊の念願から獨力を以つて梵鐘樓の實測を完成されたので、同學の士に資料の提供として御紹介する次第である。

(古林記)

×

×

不動院は広島市の最北郊（広島驛より約2.5丁）牛田町新山の一區にあつて、北方は中國の連山が霞み、南は平和都市広島デルタが開け、前面は滔々たる太田川の清流に臨み、其の彼方に毛利、武田兩氏の古戦場の銀山城址を指呼の内に眺め、後は静閑な青葉の山に包まれている。寺勢の衰への中にも巍然たる姿を見せている古寺である。

寺傳によると、天平2年僧行基の開基と傳へられ、暦應2年足利尊氏が修葺し、光明帝の勅願寺とせられたが、大永年間兵火のために荒廢し、後に僧惠瓊が豊太閤に請うて再建し不動院と稱した一説では大陸の木材を運び堂宇を建立したのが現在の建物であると云はれている。寺内には藤原時代の典型的作品と云はれる總金箔置き（モリ）の薬師如来とか、天文年間永怡筆の天井の畫龍とか、菩薩と其の肩に「信相菩薩」の文字を鑄出した銅製の朝鮮鐘を初め、豊臣時代の古文書が多數藏せられ又背後の丘には、豊太閤を初め、銀山城主武田光和、広島城城主福島正則、中興の僧惠瓊遺髮塚などがあつて、特別保護建造物の金堂を有するとい

うのみでなく、重要な歴史的地位も持ち、遊覽的にも好的な場所でもある。終戦直前広島を焼土と化したあの原子爆彈の余波は此處にも及び、堂宇の柱は折れ、壁は落ち瓦はくづれ、ものすごく破損して荒廢の色は境内にみなぎらせていたが、今は文部省から復舊資金を得て、本工事が進められている。尙此の境内には金堂をはじめ、仁王門、鐘樓、庫裡等があるが、此處では別掲の實測圖の説明として梵鐘樓のみについて、細部の手法を記述したいと思う。

様式は和洋であるが準和様ではなく、少し折衰味を帯びている。（唐、天笠様）木割大きく構造的な力感、豪健味につぐ優雅典麗味がある。

1、平面及立面

高さ（基礎土台下端より棟木上端迄）

24尺7寸9分

桁行 13尺、梁行 10尺3寸5分

2、袴腰鐘樓

重層で白壁の腰を持ち、軒先は扇垂でまとめている。鐘は上層鐘釣用の梁に吊され、經座より梯子で上層に登る。下層には經座を設け入口を除く四周には紙を張り、經机を置き、源三位頼政奉納と記した鑄鐵製燈籠がある。様式、手法は鎌倉時代以降好んで用いられた形式である。

3、石壇

野面の石を正面 17尺5寸7分
20尺1寸7分

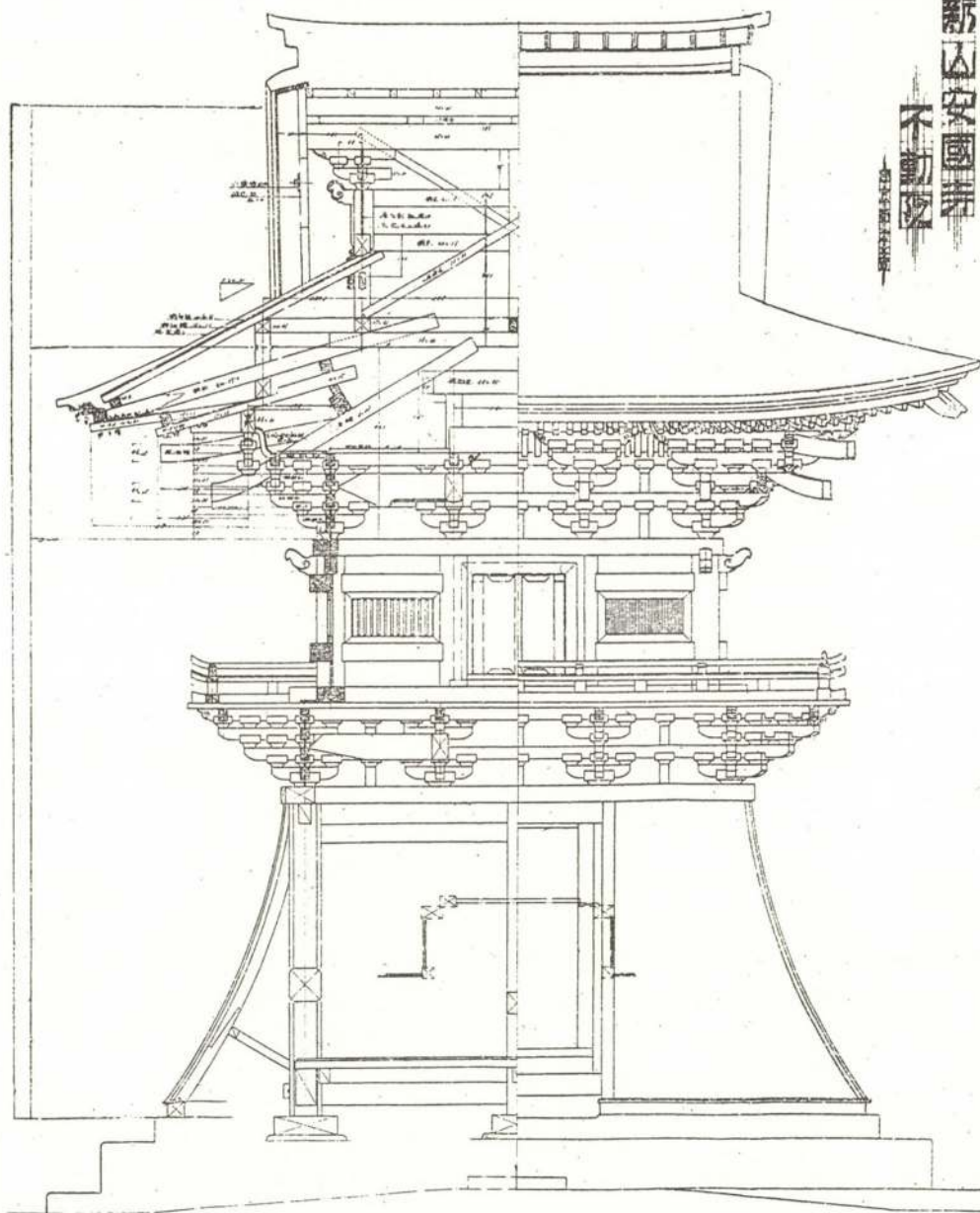
側面 15尺1寸0分
17尺7寸0分の2壇に積み

2段目は亀腹としてある。

4、柱

下層部の見隠部は8寸角柱、1寸の大面取、上層部は圓柱6寸5分径で胴張りはなく柱の最上部

新山安國寺
不動院



新山安國寺 不動院

には粽の様な小さな半径で圓味を持たせている。

5、斗拱（三手先細物）

A 肘木

肘木の舟形の圓弧の取り方をみると準和様に用いられる様に半径の取り方が長くなく、肘木の成より少し大きい半径で木取をしているので一寸見ると、唐様だと思はれる。だがその肘木の舟形半径の珍味さは幾等見ても不自然さが無い。笠線はしていないし、木口はやはり角がついている。其等の爲反つて、禪宗的な重みのある力強さを感じ又外來斗拱を巧みに、しかも自由に取扱つた技術的な手腕は實に敬服に値する。

B 斗

斗の成は平安前期の様に、あれ程高くない、巾の方が延びてむしろ長いという感じがする。又唐様に用う詰組があつて其の爲軒廻りは非常に賑かである。

6、軒廻り

A 丸桁

其の形によつて新古の判斷が出来、大体鎌倉時代は總て隋圓形又は方形面取、或は圓形と謂はれるのだが、當時のは長方形である。（淺野藩時代の修理の時、原形が變つたものかと思はれるが確證を得ていないので、はつきり云はれない）

B 支輪（和様蛇腹支輪）

和様が多分に含まれている謂はゆる蛇腹支輪で断面は方形でなく上部より下部に少しづつ大きくなつた長方形であつて、桃山時代の様式を思はせる曲線を示している。

7、尾垂（和様）

斗拱の中から前方に突き出ている木で斗拱のために天秤の作用をもしている。奈良後期にみる様に先端部に増しを付け下部に急な反りを持たし思い切つた曲線を描いている。そして先端は垂直に切り下けているので地盤面からみた時の錯覺を防いでいる。唐、天竺様より簡素だが丈夫そうに見える。

8、虹梁

一般に謂う梁である。其の形があたかも虹の様に反つているので、虹梁といわれるが、反つていなくともやはり虹梁と呼ぶ。鯖尻は奈良時代の様

にふぐらんでいない。圓くて曲線の半径は自然で緩やかである。唐、天竺様の影響を受けて鎌倉時代以後の虹梁に用いられた眉及袖切等の極く簡単な錫杖彫を施している。

9、木鼻

柱の上部を貫く頭貫の端に彫刻してあるのを謂ひ、唐、天竺様より來た建築裝飾である。先端部の鼻線りは唐様であつて簡素な渦卷式でしかも線形に力がある。其の卷込みは卷き始めの所が細かく頭は鋭く尖つている。屋根の妻部にあるものは一風變り、或は巾に比べて妙に高く盛り上つていて形としてあまり良い方ではないが前にも述べた様に妻部の太瓶束上にあるものとしては構成上仕方がないだろう。

10、蓼股

古建築を觀賞する人々は最も親しみ深く又時代鑑別上の早道であるといはれている。下層大梁の上に左右各1個づつあつて斗と通肘木を通じ上層床を支へている。板蓼股と、割拔蓼股があるが當鐘樓のは前者である。これは上部荷重を受けるだけの丈夫さを持ちその曲線は東大寺蓼股の肩にふくらみを持たせた様できわめてあつさりしているが、構造的裝飾味を持ち力感がある。

11、間斗束

普通の場合には唐、天竺様には用いないで和様にのみ用いられる。此處で使用しているのは奈良前期藥師寺東塔等に用いられた様な間斗束で、束の上下共同寸法の長方形のもので鎌倉以前のものである。

12、太瓶束

屋根の妻部にあつて太瓶束というより圓束と謂ひたい様でもありその方が的中しているかも知れない。太瓶束の下部つまり虹梁に喰い込んでいる部分（結綿）は若葉模様を刻み大變面白味がある金堂の海老虹梁の上部にあたる若葉模様と何かの關係がある様に思はれる。

13、破風板

構造上風雨にさらされる位置に在るため非常に腐りやすいものである。現在あるものが建立當時のものか、何時の修理のものかわからないが、普通にある千鳥破風で、平安後期迄の様に破風尻

は切り放しである。

14、懸魚

破風板より更に腐朽し易いため現在残っているものでも鎌倉時代のものが一番古く、又懸魚の両側の鰭は鎌倉末期から用いたものであると謂はれている。鐘樓の懸魚は菴懸魚(室町以後)に若葉の鰭を付けた様な形をしている。丁度智恩院山廊懸魚に類似しているが、智恩院のものより、若葉も長くて懸魚の形もよくととのつて、其の上巻込と全体のふくらみが調和して均整が取れている。

15、屋根

鍔葺と稱している屋根の發展と考へられる入母屋造である。昔は本瓦葺の時、檜皮葺の時もあつたが現在は小麥藁の茅葺屋根で雨漏のため非常にいたんでいて屋根のために軒先迄美觀を損じている。

16、窓(和様連子窓)

周囲の框は何の技巧も無く、長方形の枠で連子も圖の様に、三角形の底邊の兩端を落し、面を取つたもので、一定間隔を持ち、上下枠にはめ込んであるものと、盲連子(奈良時代より現れたもの)の二種類で、兩者共極く原始的で甚だ單純な窓ではあるが、丹土塗の廻りの中に朱塗の施してあつた昔日の姿は、なかなか乙な感じがしたであろう色あせた今でも如何にも建築らしさがただよっている。

17、扉及戸

上層は和様板唐戸で鏡板一枚ものをを用い上下に端喰を作り、定規縁のある兩開戸で幣軸を用いて

扉を吊り込み又、龕座の代りに平板を使つている正面と背面の二ヶ所にある。下層は和様片引板戸で、普通の板戸である。(完)

兵庫縣建築部長更迭

初代部長として活躍されてゐた岡本茂樹氏は今般勇退され後任として同縣吉田建築課長が第二代の部長に榮轉された。尙建築課長には同縣森田康次氏が昇進された。

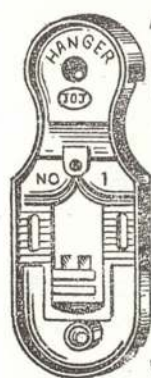
雑誌 建築と社會 購讀者を募る

本會機關誌は近來好評を博してゐるが會員外にも擴く頒布したい、希望者は下記により申込れたい、尙會員各位の御宣傳を願う

毎月一日發行 送料共一部 ¥60.00 前納の事

建材サンプルを募る

今般本會朝日ビル事務室圖書棚の一部に若干のサンプルを預り展示する、希望者は下記により申込れたい。展示會費は約一尺平方につき一ヶ月間¥300.の割りスペース僅少につき先着順締切る、詳細は事務局へ連絡されたし。



建築 (J.O.J) 金物
J.O.J.印ドアハンガー

工場、倉庫、ガレージの扉に御使用を御奨め致します
(全國金物店にあり)

代 湯淺金物株式會社
理 大阪・東京
店 岡谷鋼機株式會社
大阪・名古屋・東京

製造元 大同鑄造株式會社

プラスター 焼 石 膏 サンエス

本 社 東京都港區芝南佐久間町二丁目五番地
電話 芝(43) 3886
營業所 大阪市 東區 南久太郎町二丁目九番地
電話 北濱(23) 1549 南(75) 4495
工 場 姫路市 神屋町四丁目七七番地
電話 1220・2794・1305

サンエス石膏株式會社

萬葉から見た建築漫談

安東 忠 士

萬葉集から見た中國地方の建築について何か書けとのことであつたが、私の短見をもつてすれば生憎中國地方からは具体的なものが見當らない様に思うし、その上餘り四角張つた事も私の柄にないので、集中に表はれた建築的な漫談を二、三書いて見ようと思う。

その一 家の名稱

集中に用ひられている建築物の名稱はその種類が割合少ない。宮殿、住宅、寺院、神社關係のものがその主なるものである。宮殿の意を表はしたもののには みや みかど みあらか おほみや との おほとの、等がその主なるものであろう。歌の例を一々挙げると良いが、之は割愛して一、二の例に止める。

一 前略 — すめろぎの 神のみことの 大宮は
こゝと聞けども 大殿は こゝと言へども 春草
の 茂く生ひたる 霞立つ 春日の霧れる もゝ
しきの大宮處 見れば悲しも 卷一

之は人麿が大津の宮跡の荒れ果てゝいるのを見ての長歌の末節である。今一つ、

やすみしし 吾大王 高照らす 日の皇子
荒妙の 藤井が原に 大御門 始め給ひて
埴安の 堤の上に 一後略— 卷一

之は例の劃期的大事業であつた藤原宮の雄大壯麗をほめ讃へた歌の前節である。

その他にはいへと言うのが最も多く大体は住宅を指す様であるが、家庭、家族、故郷等の意に用ひられたものもある。例は数多い。

いほ又はかりいほと言はれたものもあり、關東地方の人が方言を使つて作つた所謂東歌の中には いはと言つたものもある。

春霞たなびく田居にいほつきて

秋田刈るまで思はしむらく 卷十

いほりと言つた例は非常に多い。

おほきみは神にしませば天雲の
雷の上にいほりせるかも 卷三

や やど やどり とあるものも澤山あつて屋、
屋戸、屋前、屋外、屋處、宿、屋取、などの漢字
が用ひられているが、家屋でなく庭園、屋敷、な
どを指したものが可成りあるようだ。やどりと言
うものは旅先の宿、旅宿等と考へられるものも多
い。

静けくとも岸には波の寄せけるか

これの屋通し聞きつゝ居れば 卷七

君待つと吾が戀ひ居れば我が屋戸の

簾動かし 秋の風吹く 卷四

海乙女棚無し小舟撈ぎ出らし

旅の屋取に揖の音きこゆ 卷六

等々。その他ふせや ふせいほ まけいほ な
どと言つて粗末な家を詠つている。特に卷五の山
上億良作貧窮問答の歌は當時の貧困生活者の家の
有様がよく表はれ土間に藁を敷いて寝ている様子
台所の模様から衣食の様子まで具体的に出ていて
文化史的に見ても興味多い。

その二 構造について

眞木柱讃めて造れる殿の如

いませ母刀自面變りせず 卷二十

眞木柱太き心はありしかど

この吾が心しづめかねつも 卷二

眞木は申すまでもなく檜であるが檜材などを柱に
用ひたものは餘程の高級建築で永く狂ひのない堅
牢不變を代表している様であつて

はた薄尾花逆葺き黒木用ち

造れる室は萬代までに 卷八

青丹よし奈良の山なる黒木用ち

造れる室はませど飽かぬかも 卷八

となる所を見ると黒木造りでも尙高級であつた。
しかもこの二首は共に御製である所を以て見て當
時の標準が偲ばれる。

黒樹とり草も刈りつゝ仕へめど

勤しき汝と譽めむともあらじ 卷四

板葺の黒木の屋根は山近し

明日の日取りて持ち参り來む 卷四

此の二首共に大伴家持が紀女郎に送つた歌で實際
に女郎が住宅を新築した際に家持が手傳つたのか
又は單に思ひを述べたか判然しないがとにかく飛
鳥板葺宮などと文化を誇つたものが此の時代には

上流家庭ではあるが板葺屋根が住宅にまで普及した事が分る。

その三 栗石のこと

基礎工事の土中に搗き込む石をなぜ栗石などと言うのか研究した事はないが、萬葉とか記紀の歌謡中に何か関係のありそうなものがある。

つねさはふ 石見の海の 言さへぐ からの
埒なる いくりにぞ 深海松生ふる 荒磯に
ぞ 玉藻は生ふる 一後略一 卷二

之は人麿が任地石見國に妻を残して都に歸る道すがら別れ來つた妻の上を思う心に堪えず詠んだ長歌の書き出しの一節である。

淡路の 野島の海人の 海の底 奥ついくりに
鯨珠 多に潜き出 船並めて 仕へまつ
るし 貴し見れば 卷六

山部赤人が難波の宮を讃へた長歌の末尾である。海底のいくりにから鯨珠(眞珠か?)を取つて献上する様である。

枯野を 塩に焼き 其が餘り 琴に作り 掻き
弾くや 由良の戸の 門中の 海岩(いくりに)
に 觸れ立つ なつの木の さやけさ。

之は書紀卷十應神天皇31年8月の條に出て居る御製である。餘言であるが「枯野」と言うのは天皇5年伊豆の國に命じて作らしめた宮船の名である。以上3例共にいくりにと言う語があつて何れも海底に没している岩の事である。釋日本紀に「句離謂石也、伊助語也」とあるそうであつて、つまりくりとは石の事となる。又の説にいくりは碇(いかり)と同語で碇岩の略で上代の碇は石を用ひていた事は明らかであるが之によつて海中に没する石をいかり石 — いくりと謂う。之等の事は土中に埋め込む石を栗石と言うのと因縁はないであらうか。

うか。私は之に以前からひどく興味を引かれていた所であるが其の道の人の研究を希望して止まない。

その四 飛驒の工人

彼にかくに物は念はず飛驒人の

折つ墨繩のただ一筋に 卷十一
飛驒國毎年貢匠丁一百人云々と言うから古くから飛驒は良き工人が出た事は申す迄もないが墨臺、墨繩を萬葉時代からちやんと使つて居つた事の證明も一つの興味ではあるまいか。

その五 新築祝のこと

新室を踏み鎮む子し手玉鳴らすも

玉の如照りたる君を内へと白せ 卷十一
新築の時土地を淨め祓ひ地堅めする地鎮祭を行う様子で大勢の乙女等が身振り宜敷しくおどるにつれ手飾りの玉がわれる。そこに一人の美しい男を見つける等ほゝ笑ましい状景ではある。

新室の言ほぎに到ればはた薄

穂に出し君が見えぬ此の頃 卷十四
新築祝に行つて相思の人の居ないのが物足りないと言うのも上代人らしい所である。

その六 盗人のこと

門たてゝ戸は閉したれど盗人の

穿れる穴より入りて見えけむ 卷十二
戸締りも嚴重にして寢たのに愛人を夢枕に見たが何處から入つて來たのであろう?さては盗人の穿つた穴から入つたんだろうと言うのは着想もさる事乍ら上代に於ても盗人がいて家に穴をあけて侵入した事が明らかであるが現代のその道の人達以て瞑すべきである。 おはり

(筆者 廣島皆實高校 工業部長)

營業 日本浪型スレート・大平板
品目 日本厚型スレート・小平板

製造販賣 並ニ 工事請負

日本スレート株式会社大阪工場

東本 社 東京都中央区銀座七丁目三番地
営業所 電話銀座(57)三二九七・五二九六
京工 業 東京都北区豊島七丁目一六番地
電話王子(81)三一五一番
仙 営業所 仙台市中田町恵土一番地
台工 場 電話中田一五番

大阪

營業所 大阪市西淀川區千船東二丁目二三番地
東工場 電話淀川(47)0888・1869・1908番
西工場 大阪市西淀川區佃町二丁目一五四番地
電話淀川(47)1081・1082番

鑛工業都宇部

岩田勝己

宇部市は中國地方第一の鑛工業都市にして、陸運海運共に交通の便に恵まれ、特に海運には内海宇部港を有し海上輸送に完璧を期して居ります。

當市は炭鑛業に起り一躍村より市になりたる躍進都市でありまして明治30年宇部炭田開發のため沖之山炭鑛が設立せられ、其發展に伴ひ炭鑛用機器の製作修理の目的で先づ宇部鐵工所が建設され其他多くの鐵工業が繼々と建設され、又同鑛の石灰粘土と附近に産出する石灰石を利用してセメント工業が起され、更に宇部炭の完全瓦斯化に依る硫安肥料製造が始められ相次いで宇部曹達工場の設立を見、昭和元年頃の當市の人口6万人が12、3年には15万の人口となり、空に聳える煙突も昭和元年には縣營火力發電所のみであつたのが、工場建設に伴ひ發電所の増設、セメント、窒素、鐵工所、曹達等其他大小工場の煙突百有余となり、連日吐出す煙は躍進宇部市にまさによさわしく、戦前宇部市の其の發展振り正に見るものありの觀がありました。

昭和20年7月1日當市空襲に依る被害は官公廳で市役所、警察署、郵便局、其他各所公共施設一部を除く各中小學校、亦工場關係では帝國燃料宇部

工場を始めとして他工場も含め殆んど再起不能と迄に被害を受け、更に市街地に於ては其の大半を焼失したのであります。然るに終戦後各種に亘り全市民の血と汗の總力に依り、今日では漸く戦前の体制に立ちもどり、空襲後分散していた人々も段々と歸宇、終戦直後10万の人口も亦昔にかえりつゝあります。

鑛工業工場の復興情况

宇部興産株式會社。各事業所の復興工事は一昨年完了致し石炭、肥料、セメント、鐵工製品共戦前の生産に到達し、工場鑛山の従業員は2万5千人を有している。

主なる工業部門

工場名	製品	生産額
宇部窒素工場	硫安	20万屯(年)
(其の他)		
	アンモニヤ。硫酸。硝酸。硫安	
	ソルベントナフサ。タール油。	
	パラフィン。クレゾール。ビツチ。コーライト。	

宇部セメント工場 セメント 34万2千屯(年)

主なる炭業部門

事業所名		生産額
沖之山炭鑛	年産	60万屯
東見初炭鑛	同	48万屯
長澤炭鑛	同	15万屯
本山炭鑛	同	12万屯
山陽無煙	同	48万屯

(筆者・宇部興産株式會社窒素工場土建課長)



高島屋裝飾部

大阪市南區難波新地六番丁
電話 南(75) 1513 — 1518

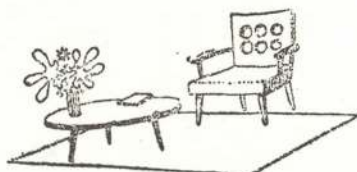
家具、窓掛、敷物、電灯器具

室内裝飾設計施工

車輛内部裝備設計施工

船舶内部裝飾造作設計施工

店舗、住宅改造、造作設計施工



支店出張所 東京・名古屋・京都・和歌山・廣島・別府・熊本・福岡

福 山 隨 想

佐 藤 公 三

求められるまゝにペンを執らせていただいた。復興隨想と云うことであるが、さて書くとなると日頃考へている事も結局まとまらない。福山市がその大部分を廢墟と化し、よく今日の復興に導びかれた努力は敬服の限りである。

その成果はおおよそ市民の想像もしなかつた街路計画實施と、復興家屋の統計數字に依つてもモデル都市福山として充分だと思う。道路は廣くなつた、デパートも完成した、映畫館も立派になつた競馬場も出來た、商店街も面目を一新した等々數え上げれば、城下町としての古めかしい風情はどこにも感ぜられない。今古城の小丘に立つて市街を俯瞰しても恐らくそこに廢墟を求める事は不可能だと思う。しかしよく復興したと感激しているばかりでもどうかと思うので、一應建築家の一人として反省もして見よう。たしかに道路も廣い中央に綠地帯を配した田舎町としては、それにつながる縦横の道路網と共に實に大膽なものであるが今尚その排水は等閑にふされている。勿論、完成への過程としてやむを得ない事かも知れないが、放任されて良いものではないと思ふ。又統計上優位を示す建築家屋も、結局個人の所有物として僅かに價値を停めている様だ。他都市に於ては建築家の必要が呼ばれているが、此處では一部をのぞ

いては殆ど受入れられない。又受入れられたとしても、それは工匠の代辯者としての價値しか認められない様だ。勿論、少數の建築家だけでは不可能であつたかも知れないが、建築に對する一般の理解も不充分だつたと思う。

建築の公共性が呼ばれてすでに久しいが、都市美を助長する要素を建築に求め得ないのはおしい事である。建設の名に於てなされた數々の工作物も思ひつきに終始し、結果なくてよいものゝ方が多いのではないだろうか。

復興も結局は復舊になるのではないかと感ぜられる華美な色彩と陳腐な看板に飾られた變化の中より、簡素な建物の並ぶ横町にかえつて好感がもてる様では残念至極である。

しかし青空市場も新らしく商店街を形成し、無意味な裝飾は或は姿を消し、或は非難の輿論に存在價値をとられている。自然にわき上る美意識の再確認はうれしい事である。障害は大きいであろうけれど、モデル都市福山完成の要素として建築に對する眞の理解は將來への進歩を約束するだろう。

(筆者 小川建設株式會社勤務)

百 合 五 句

八 嶋 半 仙

百合の香に堪えて詩集を閉じにけり
百合咲きて薔のごとく芯ゆるゝ
飾窓見る人に百合目に入らず
銀行の大テーブルや百合の花
百合の花みな相反き咲きにけり

建 築 寫 眞

日本建築協会御用命

森 庄 次 郎

ユニヴァース寫眞工藝社

大阪市南區笠屋町四番地
電話南 〇240番

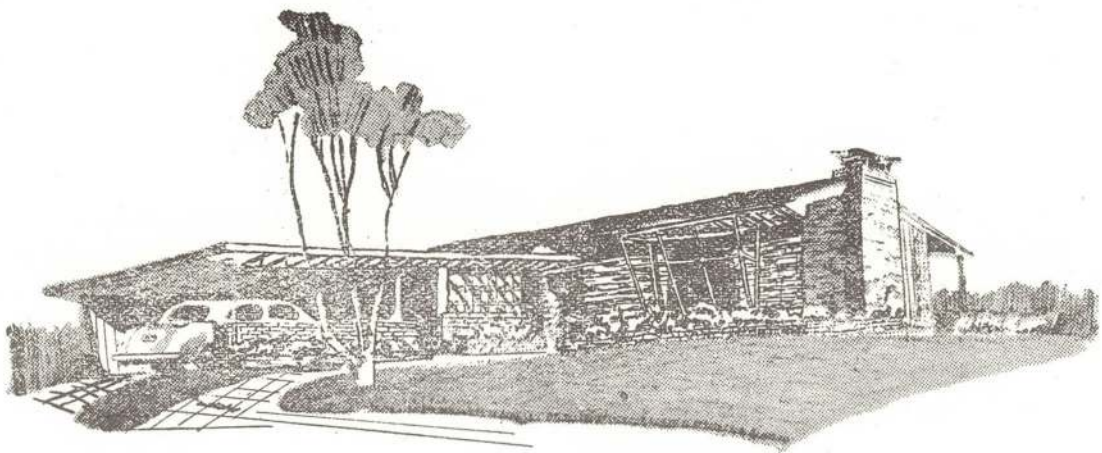
青 寫 眞

水銀燈 焼付

堂ビル前西入
天満公共職業安定所前

堂島青寫眞工業所

電話福島 3375番

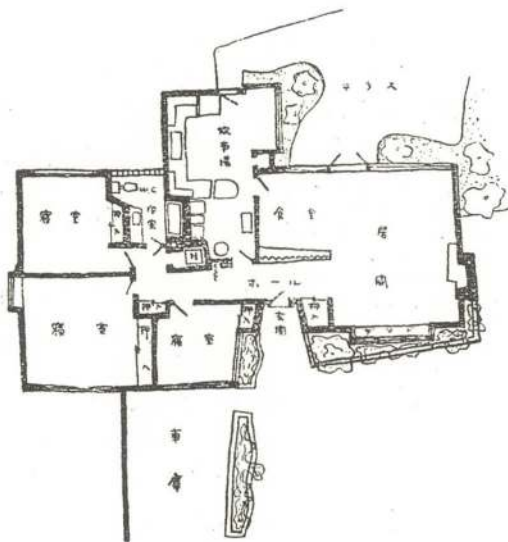


施工期間の問題

一部 アメリカン・ビルダー誌より

アメリカの産業建築の発達には色々の要素がふくまれて居りますが、時間の問題も重要な要素としてあげられます。アメリカ人は時間を大切にします。Speed と Efficiency が重大な Keypoint になつて居り、總ての仕事に時間割を拵へ其れを實行して居ります。建築面から見ても如何に Speed と Efficiency が重大な factor として多くの建築物施工面に現れて居り、組立家屋ブロック建築等は時間節約を如実に物語つて居る例であります。組立家屋一戸を三時間餘で組立た例もあります。其れは色々の條件、施工技术、材料等が總て cooperative に働いた爲に短期間に出来上つた事は云うまでもありません。別圖の住宅も驚くべき短期間に仕上つた一例であります。此の住宅はシアトルの建設業組合で38戸と共にモデルハウスとして建てられたもので、此は組立住宅では無く壁面煉瓦造、小屋木造 Shingle 葺、一部ダンプ煙突、車庫壁は石造、居間南面は全面 Stainless Steel 枠に硝子はめ込前面はスタジオ式逆勾配窓で窓台は花ダンの中に据付けてあります。内部はクルミパネル使用、一部ウイルキンソン砂岩を使つてあります。玄関と食堂のスクリーンは波形硝子を使用し、下部は戸棚になつて居り、床はコルクタイル、アスファルトタイル、ゴムタイル及びプラス

チックタイル等が張つてあります。電燈は總て間接照明で、給排水衛生其他設備は全部完成して居ります。上記の様に住宅として總てが完備したのが僅かに五日間で出来上つて居ります。10人の大工が三交代で月曜日の正午に着工し、夜までには基礎煉瓦積が完成して壁面が出来火曜日には壁、屋根等が完成し、土曜日の晩までには住める様に裝飾等が總てが完成されて、Speed と Efficiency が如實に發揮されて居ります。我々建築家も時間の觀念をもつと重要視して、工期短縮と時間の節約等に努力しなければならぬと思ひます。



建築積算便覧(第5回)

14. パネル製作材料表 (一枚=付)

名 稱		単位	2尺×3尺	2尺×6尺		
枠 材	.10×.33	石	0.033	0.059		
板 材	.06枚	〃	0.044	0.088		
釘	2〃~3〃	貫	0.03	0.04		

(註) 上表ハ最小限トス。其ノ他ニ隅取付帯鐵ヲ見ルモノトス。

15. 最近の鉄筋コンクリート建物の統計 (市営アパート)

名 稱	単位	延坪當リ	コンクリート 1立坪當リ	名 稱	単位	延坪當リ	コンクリート 1立坪當リ
コンクリート	立坪	0.253		砂 利	立坪	0.24	0.95
セメント	kg	682	2700	勞 力	人	1.10	4.20
砂	立坪	0.14	0.55	勞力ノ内經ハ下記ノ如シ(コンクリート立坪當リ)			

材料計量運搬	人/立坪	1.00	世 話 役	人/立坪	0.12
コンクリート運搬	〃	1.20	雜 役	〃	0.06
敷物突固メ	〃	0.48	足場造換工	〃	1.20
機械運轉手	〃	0.12	(計)	〃	4.20

名 稱	単位	建物延坪當	仮枠面坪當	名 稱	単位	延坪當リ	型枠坪當リ
型枠面積	坪	1.94	1.00	大 工	人	1.61	0.83
〃 木材	石	1.00	0.142	手 傳	〃	0.39	0.20
〃 釘	貫	0.523	0.267	世 話 役	〃	0.19	0.10
〃 針金	kg	1.44	0.73	人 夫	〃	0.33	0.17
				(計)		2.52	1.30

型枠面積ハコンクリート立坪當リ7.80トス。

建物延坪當リ輸送台數	仮 枠 工 事	0.02台/坪
(4ton積トラック・工期4ヶ月)	コンクリート工事	0.531台/坪

(註) 上記ノ統計ハ高輪ノ場合ヲ示ス (建設省、住宅基準ヨリ)

4. 防水防湿工事

1. アスファルト、屋根防水 (1面坪當リ)

名 稱		單 位	不モルタル 直シ 塗	防 水 層			仕 上			合 計		
				第1層	第2層	第3層	ア モ ス フ タ ル ア ル ト	シン ダ 1	コン クリ ート		防 水 セ メ ン ト	モ ル タ ル
			厚3分				厚6分	厚6分	厚6分			
ブローン・ アスファルト	157kg/罐	kg	—	5.0	5.0	5.0	23.0	—	—	38.0		
ルーフィング	重ネ3寸	坪	—	1.25	—	1.25	—	—	—	2.5		
フェルト	//	//	—	—	1.25	—	—	—	—	1.25		
石 粉		kg	—	—	—	—	20	—	—	20		
川 砂		立坪	0.005	—	—	—	0.015	0.005	0.010	0.035		
薪		kg	—	9.0	9.0	9.0	41.4	—	—	68.4		
セメント	50kg入	袋	0.30	—	—	—	—	0.27	0.78	1.35		
石 炭 殻		立坪	—	—	—	—	—	0.01	—	0.01		
コンクリート、 プライスー		1	—	0.9	—	—	—	—	—	0.9		
防 水 剤		kg	—	—	—	—	—	0.20～0.4	0.6～1.2	0.80～1.60		
左 官		人	0.10	—	—	—	—	—	0.40	0.5		
防 水 工		人	—	0.03	0.03	0.03	0.08	—	—	0.17		
人 夫		//	0.10	0.06	0.06	0.06	0.4	0.10	0.40	1.18		

(註) 1. 立上り部ノ施工ノ場合ハ、アスファルトハ、1層ニツキ3.3kg位トス。勞力ニ於テハ、約3倍近ク見ルモノトス。

2. アスファルト、コンクリートハ、床ニテ、厚1分面坪當リ、2.6kgトス。

3. 耐酸アスファルト、モルタルハ、厚1分面坪當リ5.0kg、壁ニテハ、5.6kgトス。

2. 防水アスファルトフェルト 及 ルーフィング寸法

	單位	ターフフェルト		アスファルト・フェルト			アスファルト・ルーフィング			
		1號	2號	1號	2號	3號	1/2 號	1 號	2 號	砂 付
重 サ	kg	10	20	10~12	12~15	15~20	22~28	30~34	34~40	30
一卷ノ坪數	坪	12	12	6	6	6	6	6	6	3
厚 サ	mm			0.38	0.6	0.7	1.37	1.69	2.00	2.40
一坪ノ卷數	卷	0.084	0.084	0.167	0.167	0.167	0.167	0.167	0.167	0.334

アスファルト・フェルト

アスファルト・フェルト 製 品 名 稱	種 類	1卷ノ長サ(尺)		張上 坪數 重ネ 2.5寸
		巾	長	
燈 印	1. 2. 3號	3.2尺	120.尺	9.8坪
			72.	5.9
			144.	11.8
三 星	//	3.3	72.	6.1
わ し	1/2. 1. 2. 3號	3.0	125.	9.6
日 之 出	1. 2. 3號	3.2	72.	5.9
鶴	//	3.2	72.	5.9
マ ル エ ス	C印 1. 2. 3號 1. 2. 3號	3.2	75.	6.1

アスファルト・ルーフィング

アスファルト・ルーフィング 製 品 名 稱	種 類	1巻ノ大サ(尺)		葺上坪數 重ネ2.5寸
		巾	長	
東郷、三星、マルソイド	1/2. 1. 2. 3號	3.0	95.	4.0
マ ル エ ス	//	3.2	72.	5.9
マルエス、レインブオー スド、キャンパス	1. 2號			
日 ノ 出	1/2. 1. 2. 3號			
日ノ出、アスクロース	一種類ノミ			
鶴	特1/2. 1/2. 1. 2. 3號	3.2	72.	5.9
燈印、地球、アサヒ	1/2. 1. 2. 3號			

3. 塗 布 防 水 (一面坪當リ)

名 稱		單 位	一 般 用	地下防水用
トラスコン、プラスター、ボンド	19立/罐	立	2回塗 1.8	—
トラスコン・フアンデーション・コート	18.9立/罐	//	—	2回塗 2.3
防 水 工		人	0.1	0.1
人 夫		//	0.1	0.1

4. 防 水 劑

コンバウンド及フローチン	ルーフィング張付用、厚1mm 1面坪=付キ 3.5kg		
ロ ー タ ス	混入劑 40kg/包	//	6.40kg
ウオータイト	セメント1袋=付	{ 5%ノ場合 2.5kg 3%ノ場合 1.5kg	
マ ノ ー ル	防水コンクリート(1:2:4)	1立坪=付キ	24kg
	防水モルタル(1:2)	//	60kg

5. 最近に於ける鉄筋コンクリート建物の防水面積統計

名 稱	仕 様	防水面積	計
屋 上 防水層	アスファルト3層、ルーフィング2層(立上リ25cm)	262m ²	580m ² (176坪) 0.48坪/延坪
塔 屋 //	同 上 焼砂利撒布	40	
水槽内部 //	同 上	20.5	
玄関庇上端 //	同 上 焼砂利撒布	17.5	
地下室内部 //	同 上 (上立リ1m)	240.	

(註) 上表ハ、神戸市水木鉄筋コンクリート造市営アパートトス。

1階ヨリ4階マデ各 265.92m²・・塔屋29.335m²・地階125.745m²

計 1218.76m²(368坪65) トス。

5. 鐵 筋 工 事

1. 鐵 筋 加 工 組 立 (鐵筋 1ton=付)

名 稱		單 位	徑 15mm以下ノ場合		徑 15mm以上ノ場合	
丸 鋼	切捨量ヲ見込ム	ton	1.02		1.02	
結 束 線	20~22番	kg	5.5		5.0	
鐵 筋 工	加工手間	人	4.0		2.1	
〃	組立手間	〃	6.0		3.5	

上 記 勞 力 ノ 加 減 率 表	工事場所 / 鐵筋總量(ton)→		5~10	10~20	20~30	30以上
	獨立基礎		× 0.90	× 0.77	× 0.72	× 0.60
	鐵筋コンクリート建家		× 1.00	× 0.86	× 0.80	× 0.66
	煙 突		× 1.12	× 0.97	× 0.90	× 0.75
	擁 壁		× 0.93	× 0.81	× 0.74	× 0.62
	掩 体		× 1.07	× 0.93	× 0.86	× 0.72
	防弾板、金庫		× 1.34	× 1.16	× 1.08	× 0.90
	●● 其ノ他難易=易ク		× 1.30			

鐵 筋 材 料 積 算 資 料	直 徑		重 量		餘分=見ルベキ長サ		結 束 用 鐵 線		
	mm	分	kg/m	kg/尺	繼手重ネ	兩端曲リ	B.W.G.	結箇所	總長サ
	6	2	0.222	0.038	35.5cm	16cm	22	3	0.7m
	9	3	0.499	0.151	53.2	16	〃	〃	1.1
	12	4	0.888	0.270	70.9	20	〃	〃	1.3
	16	5	1.578	0.462	94.6	26	〃	4	2.3
	19	6	2.226	0.666	112.3	32	〃	5	3.8
	22	7	2.984	0.807	130.1	36	20	〃	4.9
	25	8	3.853	1.184	147.8	42	〃	〃	6.0

鐵筋 1ton =對スル 結束線ノ 長サ	名 稱	總長 m/ton	20#kg/ton	名 稱	m/ton	kg/ton
	基 礎	1200~1900	5.8~9.2	壁	950~1200	4.6~5.8
	柱	~300~	~1.45~	階 段	~400~	~1.94~
	梁	~500~	~2.5~			
	版	~600~	~2.9~	平 均	550~650	4~5

- (註) 1. 勞力ハ、最上記ノ表ノ數價ニ、工事場所ニ應ジ勞力加減率ヲ乗ズルモノノ價トス。
 2. 結束鐵線ハ、B.W.G.20ニテ 0.00455kg/m, B.W.G.22ニテ 0.0031 kg/m ナリ。
 3. 餘分=見ルベキ長サハ、鐵筋ノ働キ長ニ、繼手ノ重ネ長サ及兩端曲リノ長サ(兩側2ヶ所ノ長サヲ表ス)ヲ加ヘ、所要鐵筋長トス。
 4. 最下表、鐵筋結束線ノ總長ハ、鐵筋 1ton =對スル長サ及重量ヲ示スモノナリ。
 5. 同表中ノ壁ハ、主筋寸法12mmφ(4分筋)トス。

2. 定 尺 鐵 筋 重 量 表

長サ / 徑	6mm	9mm	12mm	16mm	19mm	22mm	25mm
18呎							
一本當リ kg	(1.23)	(2.74)	4.88	8.68	12.24	16.34	21.06
一トンノ本數	(814)	(365)	205	116	82	61	48
20呎							
kg/本	(2.05)	(3.04)	(5.42)	9.64	13.60	18.16	23.40
本/ton	(488)	(330)	(184)	104	74	54	43
24呎							
kg/本	(1.64)	(3.95)	(6.50)	(11.57)	(16.32)	(21.79)	28.08
本/ton	(610)	(274)	(154)	(87)	(62)	(46)	36

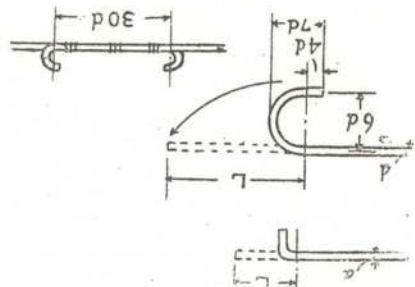
長	徑 mm→	6	9	12	16	19	22	25
33呎	Kg / 本	(2.39)	5.02	(8.94)	(15.90)	(22.44)	(29.96)	(38.61)
	本 / ton	(420)	199	(112)	(63)	(45)	(34)	(26)
12呎	Kg / 本	0.82	1.82	3.60	5.55	8.00	9.70	(14.20)
	本 / ton	1220	550	278	180	125	103	(71)
15呎	Kg / 本	(1.09)	2.27	4.50	6.80	10.00	13.10	(17.80)
	本 / ton	(9.19)	440	223	147	100	77	(56)

(註) 1. ()内ハ定尺外ノ長尺モノ又ハ特別注文品ヲ示ス。

2. 1ton 當リ本數ハ大略本數ヲ示スモノトス。

3. 鐵の曲り繼手の長さ (單位Cmトス)

徑mm	徑吋	徑分	6d	7d	30d	L
6	1/4	2	—	—	18.0	6.6
9	3/8	3	—	—	27.0	6.8
12	1/2	4	—	—	36.0	7.0
16	5/8	5	9.5	11.2	48.0	19.0
19	3/4	6	11.4	13.3	57.0	23.0
22	7/8	7	13.2	15.4	66.0	26.0
25	1	8	15.0	17.8	75.0	30.0
28	1 1/4	9	16.8	19.6	84.0	33.0
32	1 3/4	10	19.2	22.4	96.0	38.0



4. 最近の鐵筋コンクリート建築の統計 (高輪官管アパート)

名	稱	單位	建物延坪 當	コンクリート 立坪當リ	名	稱	單位	建物延坪 當	鐵筋1ton 當
鐵 筋	9mmφ	ton	0.05	0.198	勞 力	鐵筋結束線	Kg	0.085	0.80
	12mmφ	ク	0.0275	0.109		鐵筋工(曲方)	人	0.325	3.0
	16mmφ	〃	0.013	0.0515		〃 (組方)	〃	0.380	3.5
	19mmφ	ク	0.0155	0.0615		人 夫	〃	0.055	0.5
	(計)	〃	0.106	0.42		(計)	〃	0.760	7.0
輸送量(4tonトラック)			鐵筋工事ニ於テ、0.531台/延坪トス。						

5. 鐵筋網の重量表 (Kg/面坪)

鐵筋 ノ徑	間隔及 延長	間隔(尺)	0.20	0.30	0.40	0.50	0.60	0.80	1.00	1.20
		〃 (m)	0.06	0.09	0.12	0.15	0.18	0.24	0.30	0.36
		延長(尺)	180.0	120.0	90.0	72.0	60.0	45.0	36.0	30.0
6mm(2分)	0.068 Kg/尺	12.2	8.2	6.1	4.9	4.1	3.05	2.45	2.05	
		27.2	18.2	13.6	10.9	9.1	6.8	5.45	3.1	
		48.7	32.5	24.4	19.5	19.2	12.2	9.75	8.1	
9mm(3分)	0.151 〃	12.2	8.2	6.1	4.9	4.1	3.05	2.45	2.05	
		27.2	18.2	13.6	10.9	9.1	6.8	5.45	3.1	
		48.7	32.5	24.4	19.5	19.2	12.2	9.75	8.1	
12mm(4分)	0.270 〃	12.2	8.2	6.1	4.9	4.1	3.05	2.45	2.05	
		27.2	18.2	13.6	10.9	9.1	6.8	5.45	3.1	
		48.7	32.5	24.4	19.5	19.2	12.2	9.75	8.1	

(註) 1. 上表ハ、コンクリート床版、蓋ブロック、隔壁等ノ鐵筋量概算ニ便ナリ。

2. 一方向ノミノ重量ヲ示スモノナレバ、縦横同間隔ノ場合ハ、上表重量ノ二倍シ
テモラエバヨロシイ。又、縦9mmφ12Cm(4寸)間隔、横6mmφ18Cm(6寸)間
隔ノ場合ハ上表ノ、各覽ノ、13.6+4.1=17.7Kg/面坪トナルガ如シ。

3. 上表計算ノ外ニ、兩端曲リ、繼手、切捨量トシテ5~20%増トナスコト。

6. 鐵 骨 工 事

1. 鐵骨造建方作業 (鐵骨ton當リ手間人ヲ示ス)

	建 物 ノ 高 サ (尺) →		40迄	40~60	60~80	80~100
	建坪當リ鐵骨重量	250Kg迄ノ場合	1.25	1.33	1.43	1.50
ガイデリツク使用ノ場合	"	250Kg以上ノ場合	1.11	1.25	1.33	1.43
	"	300Kg "	1.05	1.11	1.25	1.33
	"	400Kg "	1.00	1.05	1.11	1.25
	"	500Kg "	0.91	1.00	1.09	1.18
	"	700Kg "	0.87	0.95	1.05	1.11
	勞力増減率	線ton數ニ依リ	400~600 tonノ場合			×1.15
			600~800 tonノ場合			×1.10
			800~1000tonノ割合			×1.05
		其ノ他	階段、軒高不整ノ場合			×2.00

- (註) 1. 工場程度、鐵骨ハ、「ガイデリツク」ノ「アーム」可動半徑迄運搬サレテデル場合、
2. ガイデリツクノ設備及移動解体ハ含マズ。

	建 物 ノ 高 サ (尺) →		30迄	30~40	40~50	50~60
	建坪當リ鐵骨重量	150Kg迄ノ場合	2.64	—	—	—
ジンボール使用ノ場合	"	150Kg以上ノ場合	2.44	2.56	—	—
	"	200Kg "	2.27	2.38	2.44	—
	"	250Kg "	2.09	2.17	2.27	2.38
	"	300Kg "	1.92	2.00	2.09	2.17
	"	500Kg "	—	—	2.00	2.09
	勞力増減率	總ton數ニ依リ	10ton以下	×2.00	50~100 ton	×1.15
			10~30ton	×1.50	100~150 "	×1.10
			30~50 "	×1.30	150~200 "	×1.05

- (註) 1. 建物工場程度、軒高同一水準取扱建物トス。
2. ジンボール、ウインチノ据付撤去共含ムモノトス。

2. 鐵骨工事勞力 (鐵骨ton當リ)

名 稱		鐵骨總 ton 數	單位	50ton 以下	50~100t	100~300	300t 以上
鐵骨加工組立手間	鐵 骨 工	現 寸	人	1.79	1.55	1.43	1.19
	〃	昇 引	〃	0.98	0.85	0.78	0.65
	〃	穴 明、穴 操	〃	4.28	3.70	3.42	2.85
	〃	板 切 斷	〃	1.43	1.24	1.14	0.95
	〃	型 物 切 斷	〃	0.69	0.52	0.48	0.40
	〃	組立取付、駄目廻仕上迄	〃	6.00	5.20	4.80	4.00
	〃	鐵 鋸	〃	4.30	3.72	3.45	2.86
	〃	火 造	〃	0.87	0.76	0.70	0.58
	鐵 骨 工	計	人	20.25	17.54	16.20	13.48
勞力増減率	ヘリベツト數ニ依リ割増率			リベツト 350~400本/ton當リ			×1.20
				〃 400~450 〃			×1.40
				〃 450~500 〃			×1.60
	總ton數300ton以上ナルモ、1棟のton數50ton迄ノモノ						×1.30
	~結構ガ5ton以上ノモノヲ含ム場合						×1.30
	軒高45尺以上ノ場合						×1.20
	作業ノ難易ニヨリ						×1.20

相 互 旋 幹

各地支部及全會員にお願い

本欄は大阪地方のみでなく全會員各位が擴く利用される事によつて相互のため一層有効であり又本欄を設けた意義も深いと考えます。何卒十二分の御利用方を切望します。

○人を求む

大阪市內有力會社にて土木技術者2名を求めている。大學出身者1名、顧問又は隨意勤務、舊専門學校出身者1名、實務経験者で常勤。相當待遇する。至急採用したし。

○圖書譲りたし

1922年版スイートカタログ1冊約2,400頁、先着順適當價格で譲る。

○新築住宅分譲

南海本線住ノ江驛南約10分、木造瓦葺平家建13坪及15坪2種20戸、敷地約50坪附1戸30万円内外、至急譲りたし

○解説附建設業法パンフレット出来

大阪復興會版一部送料共 ¥100.-
全國建設業協會編一部送料共 ¥75.-
建設省水野岑著一部送料共 ¥105.-
以上希望の方は料金添付申込れたし。

會員作品募集

本誌12月號に本年1年間に於ける本會會員の未發表作品を募集し、各位の批判を仰ぎ度く思いますので奮つて投稿せられん事を御願ひします。但し下記條項による事、尙掲載に關しては本會編集委員會に御一任を乞う。

1、本年1月よりの會員の設計、製作になる既完成建築物。

1、未だ何れの雑誌その他の機關により掲載されざる作品。

1、寫眞又は透視圖、プラン（但し實物と異ならぬ事）等1、2枚、尙簡單な説明書。

以上何れも来る10月20日迄に本會編集部（北區中之島 朝日ビル内）宛御送附乞う。

社團法人 日本建築協會編集委員會

新 刊 書 紹 介

「住宅設計作品集」

この圖集は、昭和23年4月宇治山田市主催の平和博覽會の一事業として行われた復興住宅懸賞設計競技に當選された作品を集めたものである

（四六倍版 B.5型 約60頁 價格1部 ¥150,-）

編者 宇治山田市・日本建築學會

發行所 東京都千代田區平河町2-11 彰國社

「建築と社會」バツクナンバー 分頒

第壹輯 大正6～7年 第2、4、12、14號 各4冊
第3、7、8號 各2冊 第5號 6冊 第9號 8冊
第10號 5冊 第11、13號 各2冊

第貳輯 大正8年 第1、3號 各5冊 第5號 3冊
第6、9、10、11號 各6冊 第7、8號 各4冊

第參輯 大正9年 第2、4、8號 各3冊 第5號 1冊
第6、7、11、12號 各1冊 第9、10號 各4冊

第四輯 大正10年 第2、9、12號 各4冊
第4、6、7號 各5冊、 第8、10號 各3冊

第五輯 大正11年 第7號 1冊 第8號 5冊
第9號 2冊 第11號 25冊

第六輯 大正12年 第1、2號 各3冊
第8、12號 各2冊 第9號 4冊 第10號 1冊

第七輯 大正13年 第1、7號 各3冊
第3、12號 各5冊 第4、5、8號 各4冊
第6號 7冊 第9號 2冊 第11號 6冊

第八輯 大正14年 第7、8號 各1冊

第拾七輯 昭和9年 第7號 1冊

第貳貳輯 昭和14年 第1、2、6、8號 各1冊

第貳參輯 昭和15年 第2、6、7、8、10號 各1冊
第3號 3冊 第4號 4冊

第貳四輯 昭和16年 第3、12號 各1冊
第8號 4冊 第9號 5冊

第貳五輯 昭和17年 第2、4、6、8號 各1冊
第11號 2冊

第貳六輯 昭和18年 第2、6號 各5冊
第3、7號 各4冊 第4、8號 各2冊

第貳七輯 昭和19年 第1號 1冊

第貳八輯 昭和22年 第1、2合併號 第3、4、5合併號 第9、7、8合併號 多數左庫

第貳九輯 昭和23年 第1號（7月發行）多數左庫

第參拾輯 昭和24年 第2號より6號迄 多數左庫

上記掲載なき分は賣切絶版。部數に限りあり先着順の事。欠本の場合は御了承乞う。價格は大体50円以内但し戦後の分は定價通り。尙郵送の場合は下記之通送料實費相添へ申込みされたし。1部のみの場合25円、2部より5部迄は小包料35円、6部より10部迄 小包料55円、但し10冊以上の場合は送料協會負担の事 以上申込み多數あり希望者は至急申込まれたし。

社團法人 日本建築協會

會 務

技術者制度調査委員会

来る臨時總會に建築士法として提案される豫定の下に調査を進めているが8月26日、31日更に議を練り9月3日四會連合協議會が東京で開催されたので本會よりは數中委員が上京した。

主 記 會 9月2日分室にて定例會開催 理事會提案其の他事項協議した。

和歌山會勢委員会 9月3日午後2時より同市公園内當りやで開催 農村委員長以下7名及本部大和常務理事出席、11月號編集の件其他會勢發展等協議した。

常任理事會 9月6日分室で定例會開催 理事會並評議員會開催事項等協議した。

住宅委員会 9月6日2時朝日事務所にて元吉委員長以下4名出席組立式金屬住宅研究其他を議した。

理 事 會 9月8日朝日事務所にて定例開催、竹腰會長、井上副會長以下14名出席。

1、會費値上の件。評議員會開催の件。會誌定價改正の件。定款改正案懇談の件。事務局各係長任命の件。會員名簿調製の件。經費節約申合の件。會員證銜。8月分會計報告。大丸展經過。各委員會經過。五日會よりの補助會費増額承認の件等協議報告をした。

編集委員会 9月9日、20日朝日事務所にて3時より開催。

11月以降編集、アート紙挿入内容充實、並會員名簿調製検討協議した。

兵庫支部幹事會 9月10日午後4時より神戸市内建設工業組合にて開催 岡本支部長外8名本部大和理事出席、本部よりの依頼事項、見學其他支部發展策協議終つて、瀧澤幹事今般大阪大學へ轉出のため送別茶話會開催 7時散會。

工事請負規程委員会 9月12日及22日朝日事務室開催、尾崎委員長外出席、東京にて近く開催の四會連合協議會提出事項協議した。

地震対策委員会 9月19日正午より朝日事務所で開催、池田宮彦委員長外出席、展示ポスター、パンフレット原稿検討及發行の件、年内出張講演に着手する事等協議した。

評 議 員 會 9月19日2時より朝日事務所で開催、評議員鈴木末尾議長外15名委任出席35名、理事者側竹腰會長外、大和常務理事等列席の下に開催、別項掲載の通り細則一部變更(會費値上)の件及審議可決した。終て主記提案に係る定款一部變更等につき懇談會を開き意見交換後3時半閉會した。

大阪會勢委員会 9月8日1時より朝日事務所で開催、尾龜、野中委員外出席見學外協議した。

府營豊中分譲住宅展示會見學

會勢委員会にては9月22日午後2時より今般竣工した上記見學會を開催した。會する者15名 錢高組設計部長の案内で15棟隅なく見學。

教育委員会 9月26日2時から朝日ビルで開催、8月迄經過報告、今後事業を協議した。

建材審査委員会 9月27日2時、今般新設された本委員会第一回會合を開いた。井上副會長挨拶後、委員長、幹事互選し規程草案、今後の進行方法等につき、協議した。

後 記

兵庫、京都に續き地方特輯の第三輯として、本號も中國支部にその集收を願つた。ただ紙面の都合上、一部割愛、記事掲載の順位の移動を致しました事を御詫びすると共に、格別の御盡力を賜つた支部委員各位に感謝申上げる次第である。

本誌も號を追つて充實し、表題の主旨に副つて進みつゝありますが、尙一層の飛躍を期する爲、本號よりアート紙を僅かながら加え、會員各位の希望の一端を果すと共に、今後は經費の許す範圍に於てアート紙の増頁をも計畫している。

愛される雜誌への飛躍を期し、今後尙一層の會員各位の御協力を乞ふ次第である。(編集者)

營 業 種 目

スチールサツシュ・ドア・スチールシャッター
ゲート・スカイライト・オペレーター 改修及
取 付 工 事 一 般
スチールロッカー・キャビネット・輕量金庫・
製 鐵 鐵 骨 ・ 車 輛 部 品
スリッパ・各種板金及プレス加工
炭 研 式 鋼 製 自 在 支 柱

理研工業株式會社建鐵工場代理店
奥小路工業株式會社代理店

阪 神 鋼 材 工 業 所

營業所 大阪市北區會根崎中一丁目四六
電話 堀川 ㊤ 3736番

分 室 神戸市生田區三宮町一丁目九六
電話 元町 ㊤ 2252番

建 築 と 社 會

第 30 輯 第 10 號

實價1部60円(送料共)

昭和24年9月25日印刷・昭和24年10月1日發行

編集發行人 戸 川 弘

發 行 所 社 團 日 本 建 築 協 會
法 人

大阪市北區中ノ島3ノ3朝日ビル

電話 { 土佐堀 ㊤1836・3631番

{ 北 濱 ㊤1334 ~ 9 番

振替口座大阪 39975 番

大 阪 市 東 區 北 新 町 二 丁 目

印 刷 者 中 川 眞 佐 吉

大 阪 市 東 區 北 新 町 二 丁 目

印 刷 所 ア ボ ロ 印 刷 所

●第三〇集 第一〇号 掲載広告一覧（掲載順）

協和製作所
郷組
東洋建築
鉄道電気工業
山田建築金物商会
蔵田金物店
平和商事
落田商会
広鋳商会
新生電業
英和興業
広島英和商工社
朝日電機販売
青盛建材
長門石材工業
日本建設産業
日本化学産業
日動火災海上保険
松本建設
近畿電気工事
広島ホテル
大本組

三菱電機
中国電気工事
中国土木
中下組
日共組
共栄建材工業
平和通信建設工業
双葉工業
阿川建設
井森組
今江工務店
大林組
興和工業
城南土木工業
東亜工業
林工務店
福田組
藤本組
防長土建
山九建設
吉備瓦産業
西川清商店

三沢鉄工所
光田建材店
山岡利三郎商店
平松建材店
光田金物店
日東工務店
大阪城口研究所
大阪電気商会
大阪暖房商会
桐田商会
斎藤久孝
須賀工業
西原衛生工業所
建材社
三晃商会
大和工業
大阪パッキング製造所
保坂工業所
高田商会
東建商会
鼎直一商店
関城化学工業所
内外アスベスト
日本断熱工業

報国工業
明正社
日本セメント防水剤製造所
内外土木建材社
山源商店
鈴木工務所
三高製作所
中川ラス製作所
ライトラバー興業
オリエンタルメタル製造
辰己吉商店
鈴木シャッター工業
日建鋼業
福島商事
円満庄次郎商店
室谷商店
中谷建材店
樫野石灰工業
京建産業
吉田芳雄商店
石田建材店
興亜建材工業所
灰政商店
和泉石灰建材

ナニワ瓦

神治屋本店

芦屋左官工業所

兵庫県瓦工事

木下謹三商店

勢山竹材店

天王寺木工

浪花工房

井田商店

村田硝子店

満点製作所

矢橋大理石商店

利倉幸商店

三幸商会

黒島竹材

野沢石綿セメント

日本レイヨン

大阪窯業セメント

小野田セメント製造